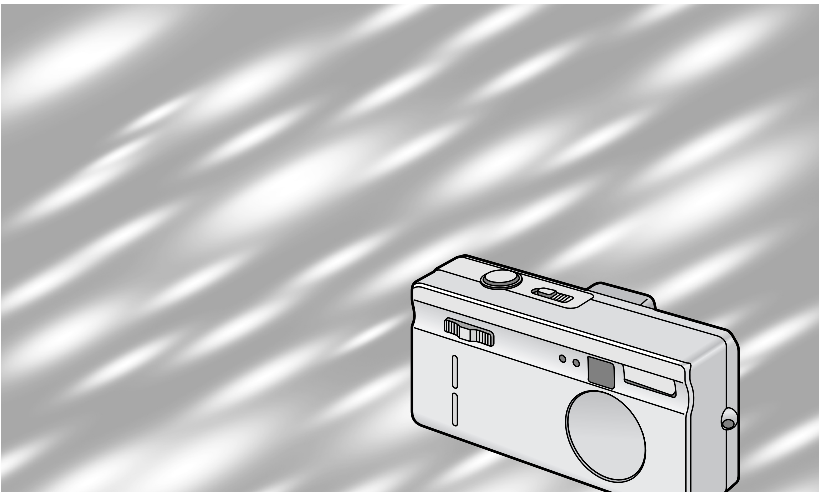
Panasonic

デジタルカメラ
取扱説明書
品番 **DMC-F7**

はじめに
準備
基本
応用
その他



上手に使って上手に節電

保証書別添付

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

MultiMediaCard™

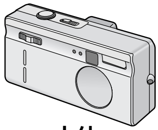
このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9461-4

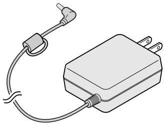
いますぐ撮影したい

☞は参照ページです。

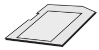
必要なもの



本体

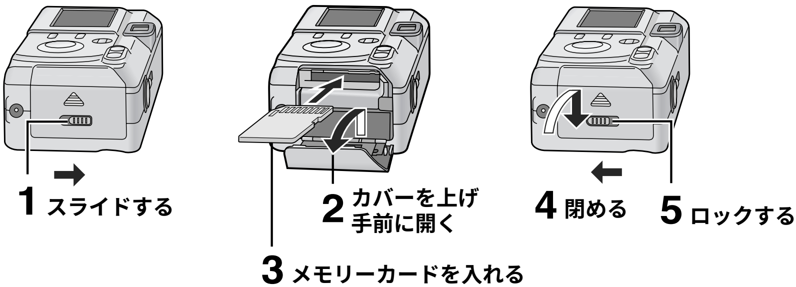


ACアダプター
（付属）

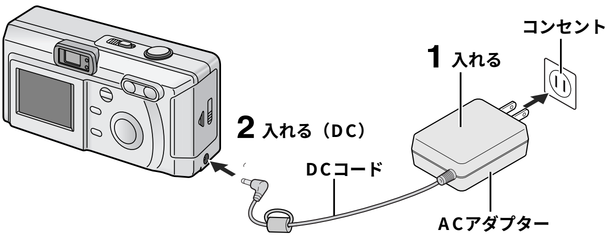


SDメモリーカード™
(付属、8MB)

❶ メモリーカードを入れる (☞26 ページ)



❷ 電源をつなぐ (☞24 ページ)





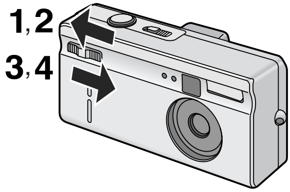
● 付属以外のACアダプターを使用されますと、電圧の違いにより本機が故障する原因となります。

❸ 電源を入/切する (☞20ページ)

電源を入れる

1 撮影/電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開ける

2 さらに最後までスライドさせて電源を入れて、撮影モードにする



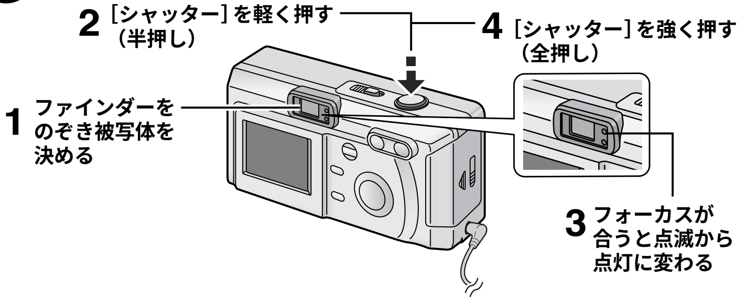
電源を切る

3 撮影/電源スイッチを戻して電源を切る

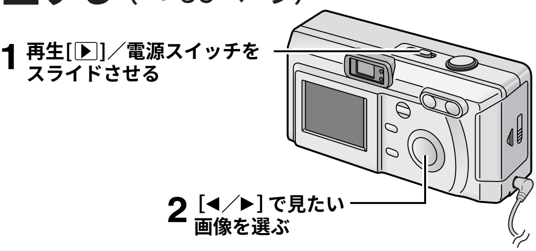
4 さらに最後まで戻してレンズカバーを閉める

●レンズの収納を確認してからレンズカバーを閉めてください

❹ 撮る (☞33ページ)



❺ 再生する (☞35ページ)

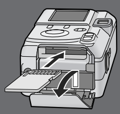


●使用中、本機が温かくなりますが、異常ではありません。

もくじ

はじめに

準備



基本



応用



応用



その他

本文中の記号の見方

ご注意 操作上の注意などが書かれています。

MEMO 機能や使用上の制限などが書かれています。

知っているとちょっと便利な内容やキーポイントが書かれています。

参照ページや参照項目を示しています。

主な特長

有効画素数2.0M、コンパクトタイプのカメラです
総画素211万画素CCD使用により、コンパクトタイプのカメラで高画質を実現。軽量のため持ち運びに便利で、撮影シーンを選びません。

すぐに撮影できます
シャッターボタンを押すだけの簡単操作です。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは、マルチメディアカードに記録できます。

その場ですぐに確認できます
記録した画像は、再生モードに切り換えるだけで、その場で確認できます。拡大表示（ズーム再生）したり、一度に複数のファイル（9画面表示）を見ることができます。

携帯電話(au cdmaOne)/feel H"へ画像を転送できます
本機で撮影したお好みの静止画を、付属のケーブルで簡単に携帯電話(cdmaOne)やfeel H"へ転送し、壁紙や着信画面などに使うことができます。

大切な撮影の前に

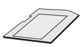
- 大切な撮影の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルカメラおよびメモリーカード等の不具合により、正常に撮影や再生ができなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切なメモリー画像は、パソコン等にも保存してください。メモリー画像の変化・消失については、弊社は一切その責任は負いませんのであらかじめご了承ください。

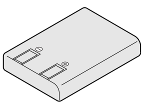
- **本書では、SD メモリーカードをメモリーカードと説明しています。**

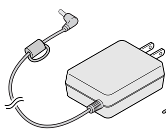
著作権について

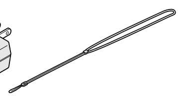
あなたがデジタルカメラで撮影、録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

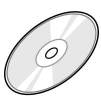
付属品

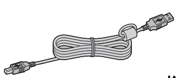

SDメモリーカード
（8MB）

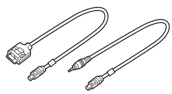

バッテリーパック

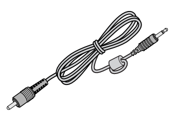

ACアダプター


ストラップ


CD-ROM


USB 接続ケーブル
K1HA05CD0001
USB接続キット


携帯電話用シリアルケーブル
VJA1154
feel H"用シリアルケーブル
VJA1155


ビデオケーブル
VJA1153

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁　止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要（寿命）になったバッテリーについては67ページをご参照ください。

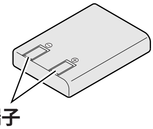
バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

禁　止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

バッテリーの端子部（⊕ と ⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

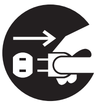
禁　止



ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。持ち運ぶときは付属の保管袋に入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。

⚠警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、AC アダプターを抜く

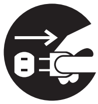


ACアダプターを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、AC アダプターを抜く

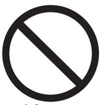


ACアダプターを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない



禁　止

事故の誘発につながります。

- 歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターのプラグにふれない



接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠警告

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

禁　止

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁　止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

不安定な状態で使わない

禁　止

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電につながります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

フラッシュの発光部分を手で触らない

接触禁止

フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因となります。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

● 水が入ったときは、販売店にご相談ください。
● 雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

AC アダプターやコードを破損させない

禁　止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

● 破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

● 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
● お手入れ時、または部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁　止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

⚠警告

AC アダプターのプラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

AC アダプターは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●ACアダプターは時々点検してください。

⚠注意

ケーブルを持って抜かない ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

禁　止

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

ケーブルが張った状態で使わない

禁　止

ケーブルにつまずいて、転倒や機器が損傷するおそれがあります。

⚠注意

高温になるところに放置しない

禁　止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。デジタルカメラ、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装が変形し内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、AC アダプターを抜く

ACアダプターを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。(カード保護のため、カードも取り出しておいてください)

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

禁　止

強い光により、目をいためるおそれがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

禁　止

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁　止

指定以外の電池を使うと、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

USB 接続ケーブルはUSB 端子以外には装着しない

禁　止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USB 接続ケーブルを装着する前に、使用機器の端子がUSB 用であることを確認してください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁　止

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

⚠注意

ACアダプターのコードを持って抜かない

禁 止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、AC アダプター本体を持ってください。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

禁 止

熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

禁 止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

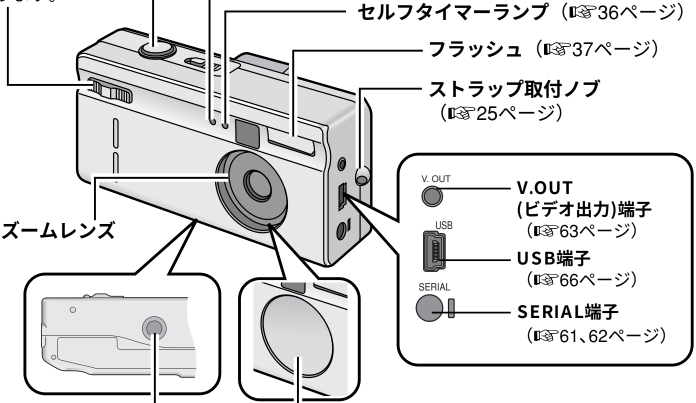
●3 年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

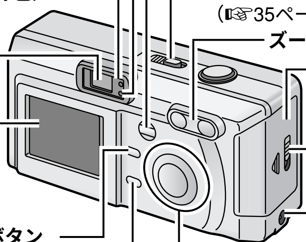
電池が液もれしたときは

- 万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

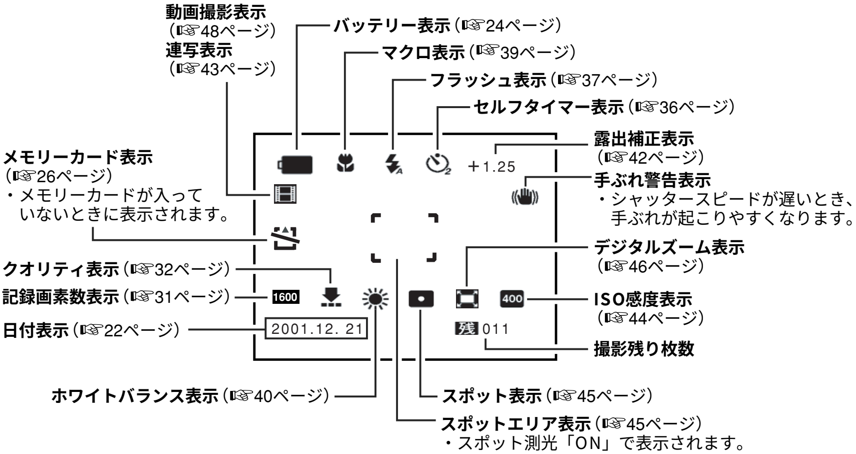
前面／背面／底面



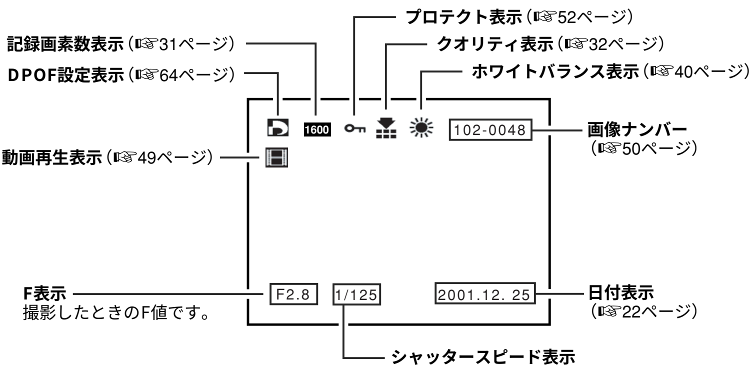


液晶画面表示（撮影時／再生時）

撮影時の画面表示



再生時の画面表示

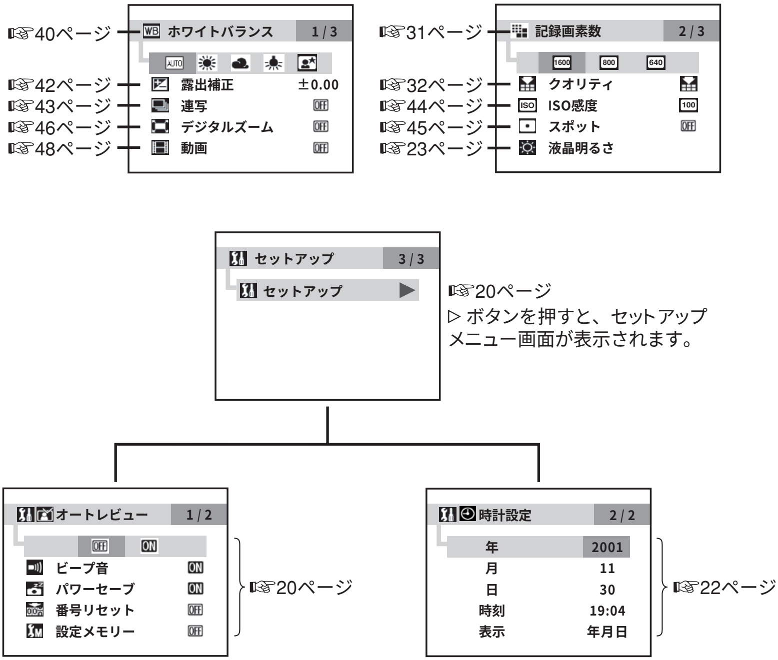


準備

メニュー画面一覧

カメラ設定メニュー画面

● 設定方法は以下のページをご覧ください。



MEMO

● 「動画」メニューがONになっているときは、「連写」、「記録画素数」、「クオリティ」、「デジタルズーム」メニューはスキップして選択できません。

再生メニュー画面

再生メニュー

プロテクト
- プロテクト ▶
- DPOF
- スライドショー
- エディット
- 携帯画像

プロテクト

プロテクト
- 表示画像 ▶
- 全画像

（☞52ページ）

DPOF

DPOF
- 表示画像 ▶
- 全画像
- インデックス
- リセット

（☞64ページ）

スライドショー

スライドショー
- 全画像 ▶
- DPOF

（☞51ページ）

エディット

エディット
- 白黒　セピア　反転

（☞54ページ）

携帯画像

携帯画像
- 携帯画像作成 ▶
- 携帯画像確認

（☞58ページ）

削除メニュー画面

削除メニュー

削除
- 一枚削除 ▶
- 全画像削除
- フォーマット

キャンセル：

一枚削除

一枚削除
- 削除　キャンセル

（☞ 53ページ）

全画像削除

全画像削除
- 削除　キャンセル

（☞ 53ページ）

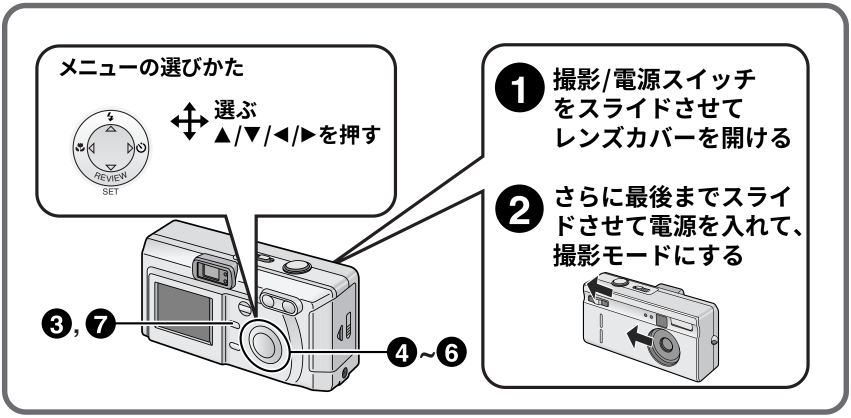
フォーマット

フォーマット
- フォーマット　キャンセル

（☞ 27ページ）

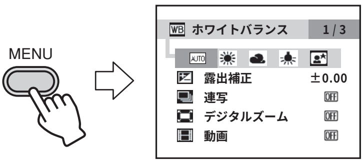
セットアップメニューを設定する

撮影の状況に応じてカメラの設定を変更することができます。



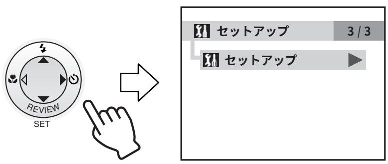
❸ [MENU]を押す

● カメラ設定メニューが表示されます。

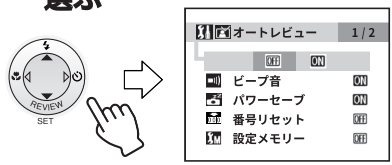


❹ [▲／▼]で「セットアップ」を選び、[▶]を押す

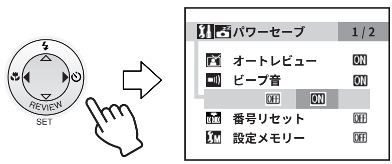
●セットアップメニューが表示されます。



❺ [▲／▼] で「項目」内容を選ぶ



❻ [◀／▶] で選んだ項目の設定内容を決定する



● 設定内容が変更されます。

❼ [メニュー] を押し、メニュー画を消す

セットアップメニューについて

項　目	設定内容
オートレビュー	・ON　：撮影後に撮影した画像が約2秒間液晶画面に表示されます。 ・OFF：液晶画面に表示されません。
ビープ音	撮影時などに出るお知らせ音を「ON/OFF」で設定します。 ・ON　：お知らせ音が出ます。 ・OFF：お知らせ音が出ません。
パワーセーブ	撮影時には、何も操作しないと約2分後に省電力モードに入り、さらに約8分経過すると自動的に電源が切れます。また、再生時は約10分経過すると自動的に電源が切れます。ただし、ACアダプター接続時は電源が切れません。 ・ON　：何も操作しないと省電力モードになります。 ・OFF：省電力モードになりません。
番号リセット	・ON　：次の撮影からファイル番号が1から始まります。 ・OFF：通常は「OFF」にします。
設定メモリー	・ON　：フォーカス、フラッシュ、露出補正の設定が電源を切る直前の状態で記憶されます。「ON」にして▶ボタンを押したあと、さらに▶ボタンを押し続けると設定をリセットすることができます。リセットするとお買い上げ時の状態に戻りますが、時計設定のみ変わりません。 ・OFF：メニュー内容の露出補正以外は記憶します。
時計設定	日付や時計を変更するときに設定します。☞22ページ

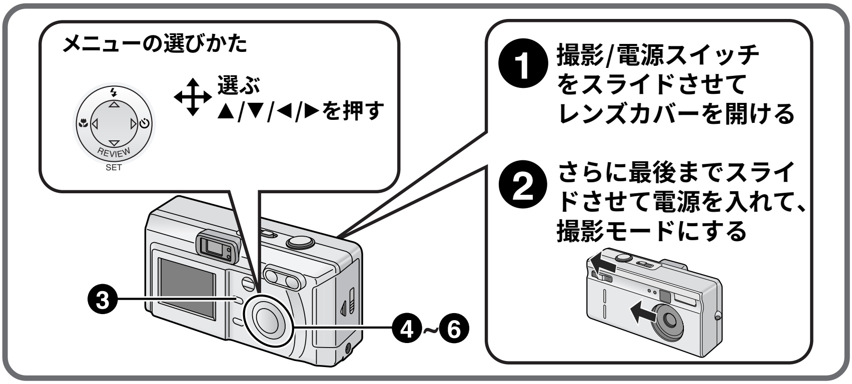
お買い上げ時の設定です。

MEMO

- 省電力モードのときに再び電源を入れたいときはシャッターを「半押し」してください。シャッターを押しても電源が入らないときは、レンズカバーを一度閉じてから、再度開いてください。

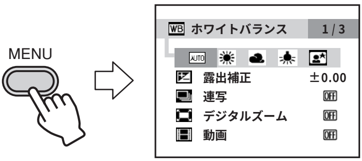
時計を設定する

本機の時計を合わせます。海外旅行などで日付や時計を変えるときや、時計がズレたときに合わせます。



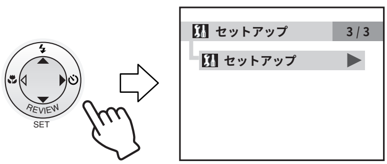
❸ [MENU]を押す

●カメラ設定メニューが表示されます。



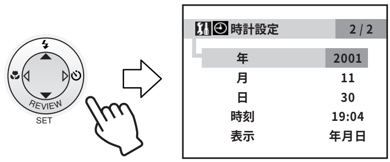
❹ [▲／▼]で「セットアップ」を選び、[▶]を押す

●セットアップメニューが表示されます。



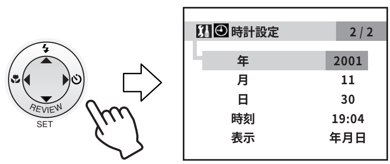
❺ [▲／▼] で「時計設定」を選ぶ

●時計設定メニューが表示されます。



❻ [▲／▼]で「年､月､日､時刻､表示」を選び、[◀／▶] で数値などを変更する

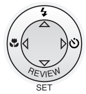
●終了したら[メニュー]を押し、メニュー画を消す。



液晶画面の明るさを調節する

液晶画面の明るさを調節してから、撮影や再生を行います。

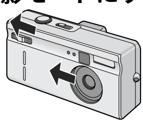
メニューの選びかた

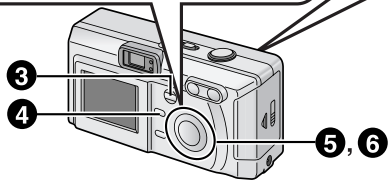


選ぶ
▲/▼/◀/▶を押す

❶ 撮影/電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開ける

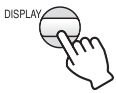
❷ さらに最後までスライドさせて電源を入れて、撮影モードにする





❸ [DISPLAY]を押す

- [DISPLAY]を押して表示モードを切り換えます。

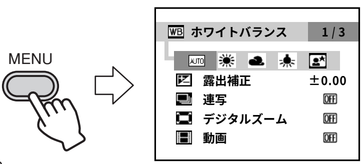


- [DISPLAY]を押すたびに切り換わります。

→ オンスクリーン表示付き → オンスクリーン表示無し → オフ →

❹ [MENU]を押す

- カメラ設定メニューが表示されます。



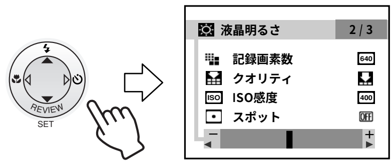
MEMO

セットした明るさは

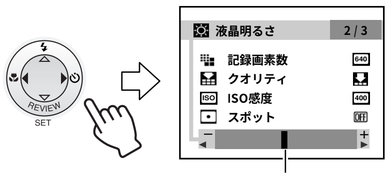
- メモリーカードに記録されるデータには影響ありません。

❺ [▲／▼]で「液晶明るさ」を選ぶ

- 2/3ページを表示させます。



❻ [◀／▶]で液晶の明るさを調節する

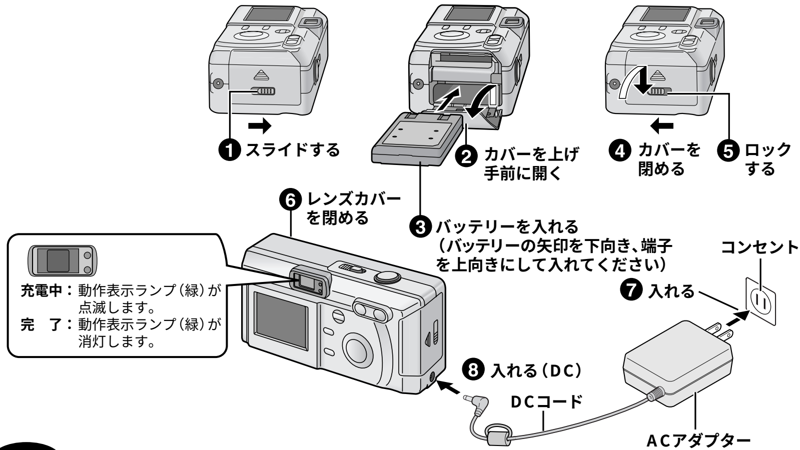


◀/▶を押して調整する

- 終了したら[メニュー]を押し、メニュー画を消す。

バッテリーを充電する

バッテリーの充電はバッテリーをカメラに取り付け、付属のACアダプターを使用して充電します。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞75 ページ）



ご注意

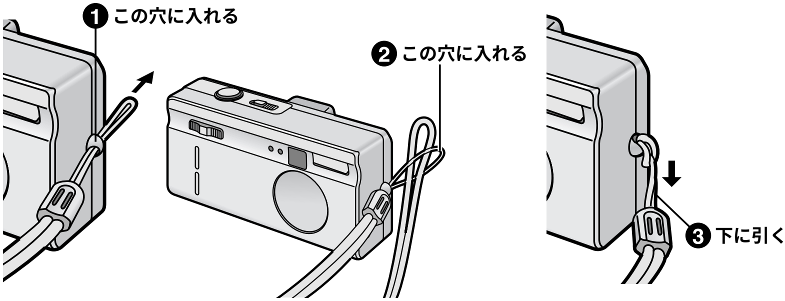
- **充電中はバッテリーカバーを開けないでください。**
- **付属以外のACアダプターを使用されますと、電圧の違いにより本機が故障する原因となります。**
- **カードのデータが破壊される可能性があるので、アクセス中はDC コードを抜き差ししないでください。**
- **バッテリーの交換は必ず本体の撮影 / 電源スイッチを切ってから行ってください。**
- **電源を入れたまま DC コードを抜いたり、バッテリーを外さないでください。カードのデータが破壊されるおそれがあります。また本機にファイル番号が記憶されないため、別のカードに同じファイル番号で画像が記録されます。**

- 充電時間の目安　➡ 付属のバッテリー 1 個で 約 90 分（室温 10℃～ 35℃）
- 充電できない　➡ 電源が入っていると充電できません。
- 充電しても撮影時間が短い　➡ 寿命です。新しいバッテリーをご購入ください。
- 付属のバッテリー撮影枚数の目安　➡ 実撮影枚数：約 100 枚（約 50 分相当）
（常温で 30 秒間隔撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、液晶画面オン）
約 120 枚（約 60 分相当）
（常温で 30 秒間隔撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、液晶画面オフ）

※ 撮影枚数はおおよその目安です。フラッシュ、ズームなどの使用条件により、撮影枚数が少なくなることがあります。

- バッテリー残量がなくなると、動作表示ランプが点滅します。このときシャッターを半押しすると警告音が鳴ります。

ストラップを取り付ける

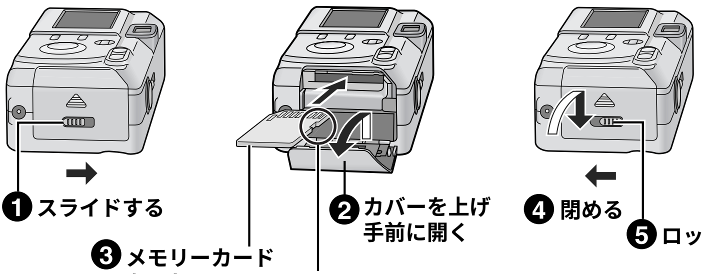


MEMO

- デジタルカメラを使用されないときは、レンズカバーを閉めてください。
- レンズ面に指紋などを付けたときや高温多湿（海岸、山など）での撮影のあとには、必ず市販のレンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。
- 保管する場所はなるべく風通しの良い、ゴミやほこりの少ないところをお選びください。

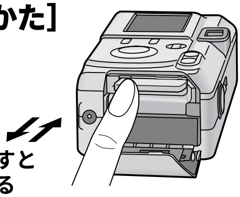
メモリーカード(SDメモリーカード)の出し入れ

お買い上げ時は、メモリーカード（8MB）が付属されています。本機では SD メモリーカード(SD™マーク)または、マルチメディアカード(MultiMediaCard™)をご使用ください。



プロテクトスイッチ(SDメモリーカード)
プロテクトスイッチをスライドさせると書き込み禁止にできます。
大切なデータを誤って消去してしまう事故を防止できます。

[取り出しかた]



ご注意

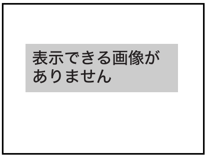
- **メモリーカードの抜差しをするときは、必ず電源を「切」にしてください。**
- **メモリーカードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。**
- **メモリーカードの電極面には直接手をふれないでください。**
- **カードの交換は必ず本体の撮影 / 電源スイッチを切ってから行ってください。**

メモリーカードの初期化(フォーマット)

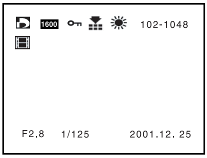
メモリーカードがフォーマットされていなかった場合、初期化する必要があります。初期化するとメモリーカード内の画像だけでなく、すべてのデータが消去されます。

❶ 再生[▶]/電源スイッチをスライドする

- 再生画面が表示されます。



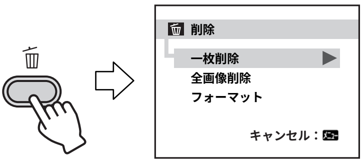
未記録カード



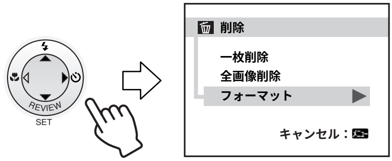
記録済みカード

❷ [🗑]を押す

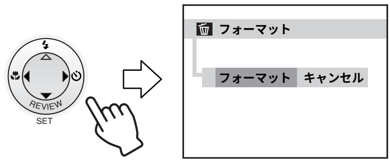
- 削除メニューが表示されます。



❸ [▲/▼]で「フォーマット」を選び、[▶]を押す



❹ [◀/▶]で「フォーマット」を選び、[▼]を押す



- 「フォーマット中です」が表示され、フォーマットが終了すると「表示できる画像がありません」が表示されます。

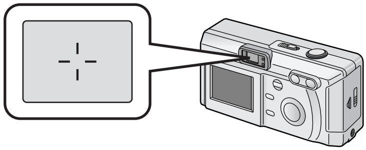
ご注意

- **初期化する場合、必ず付属のACアダプターをご使用ください。**
- **新しく購入されたカードや他機(パソコンなど)でフォーマットされたカードでは使用できない場合があります。本機でのフォーマットをおすすめします。**
- **フォーマット中は電源を切らないでください。(バッテリーカバーを開けないでください)**
- **カードをフォーマットできない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。**

撮影の基本

光学ファインダーについて

本機は光学式ファインダーを装備しています。

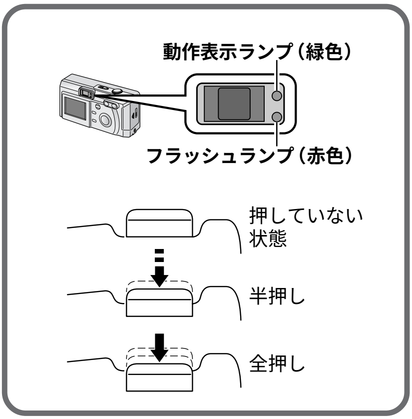


- **光学ファインダー**
  フォーカスを合わせる被写体をこのファインダーに納めてシャッターボタンを押します。

ご注意
- **近接撮影で実際に撮影される範囲は、ファインダーで見える範囲より下へずれます。被写体までの距離が近くなればなるほどずれは大きくなります。**
  大切な撮影の場合は、液晶画面で被写体の確認をおすすめします。

シャッターボタンについて

本機のシャッターボタンは 2 段階になっています。シャッターボタンを軽く 1 段目まで押すと、動作表示ランプ（緑色）が点滅してカメラが自動的にフォーカスを合わせます。
フォーカスが合うと動作表示ランプ（緑色）が点灯します。
シャッターボタンを1段目まで押すことを「半押し」といいます。「半押し」の状態から更に2段目まで押す「全押し」で撮影します。

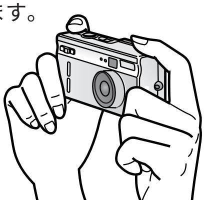


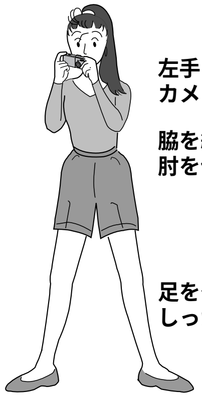
- シャッターボタンは指が浮いた状態から押したり、強く押すと画面が斜めになったり、手ブレの原因になります。「半押し」の状態から軽く押して撮影してください。

MEMO
- シャッターボタンの「半押し」を一度やめて、再び「半押し」にすると、カメラはオートフォーカスをやり直します。
- シャッターボタンを「半押し」せずに「全押し」すると、フォーカスを合わせたあとに自動的にシャッターが切れます。

上手に撮る姿勢

左手でレンズ左斜め下を押さえて固定し、右手でしっかり本機をささえます。次に被写体を探しカメラポジションを決めます。カメラを構える向きが被写体のアングルや背景を変化させます。被写体のどこの部分をどれくらいの大きさで撮影するのかズームなどを使って調節（フレーミングと言います）します。



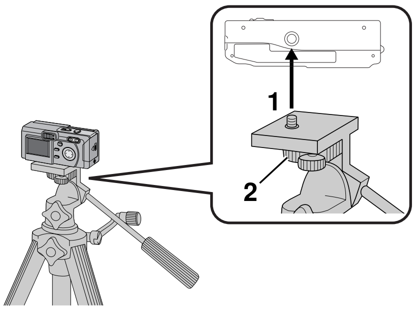


基本

三脚の取り付け

姿勢が不安定な撮影条件では､より手ブレを起こしやすくなりますので市販のカメラ用三脚のご使用をおすすめします。

1. **三脚のネジと本体底面のネジ穴を合わせる**
2. **三脚のネジを回して固定する**
   - ガタつかないように、ネジおよび足の長さも調節します。

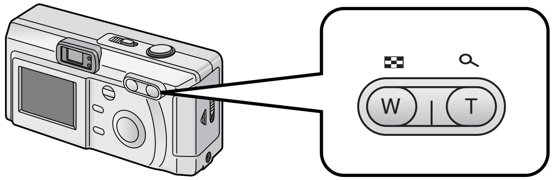




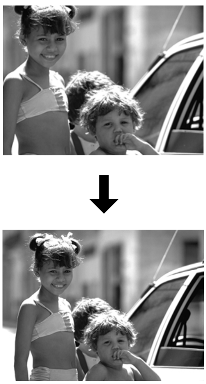
- **低い所**
  安定した姿勢をとりづらいので､画面が傾いたり手ブレが起こりやすくなります。
- **暗い所**
  特にフラッシュを使用できない場所（博物館など）での撮影は､シャッタースピードが遅くなるので手ブレが起こりやすくなります。
- **遠くを望遠で撮る**
  遠くのものを大きく写し出すので､小さな動きでも大きなブレとなる可能性があります。
- **近くをアップで撮る（接写）**
  近くの物を拡大した状態で撮影するので､手や体のわずかな動きが手ブレにつながります。

ズームする

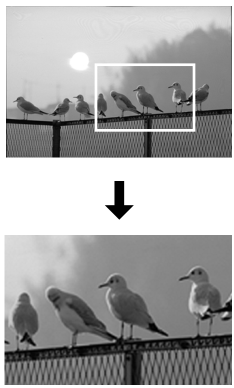
本機には35ミリカメラ換算で35ミリから70ミリの2倍ズーム機能があります。撮影する位置を変えることなく、広い範囲から遠くのアップまで撮影することができます。



W側（ワイド）にすると
より広い範囲を撮影することができます。

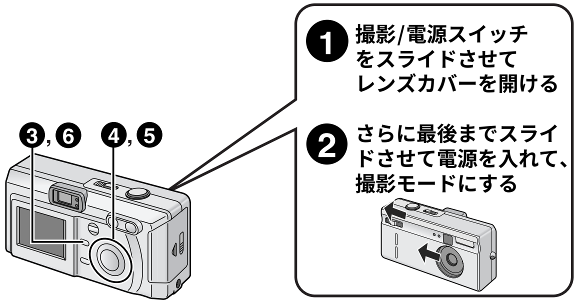


T側（望遠）にすると
遠くのものを大きく撮ることができます。



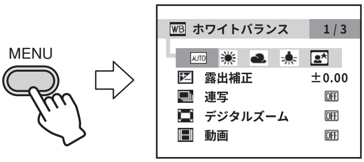
画像サイズ（記録画素数）を選ぶ

高解像度順に 1600 × 1200 画素、800 × 600 画素、640 × 480 画素の 3 種類があります。目的によってお選びください。

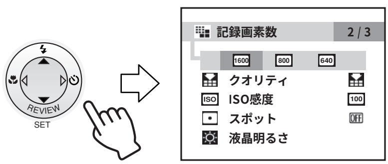


❸ [MENU]を押す

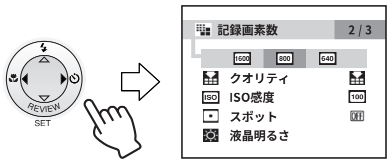
● カメラ設定メニューが表示されます。



❹ [▲／▼]で「記録画素数」を選ぶ



❺ [◀／▶]でサイズを選ぶ



❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す

撮影枚数の目安
（8MB、16MBのSDメモリーカードを使用した場合）

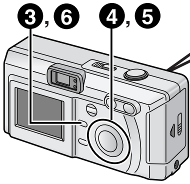
記録画素数	画　質	8MB	16MB
1600×1200	ファイン	約8枚	約18枚
	スタンダード	約12枚	約26枚
800×600	ファイン	約24枚	約53枚
	スタンダード	約44枚	約97枚
640×480	ファイン	約41枚	約90枚
	スタンダード	約66枚	約145枚

ご注意

- **撮影枚数は、撮影する被写体により異なることがあります。**
- **撮影枚数が 1000 枚以上のとき「999」の表示になります。**

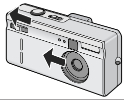
画質(クオリティ)を選ぶ

目的に応じて画質を選ぶことができます。画質の良い順から、ファイン、スタンダードの 2 種類があります。



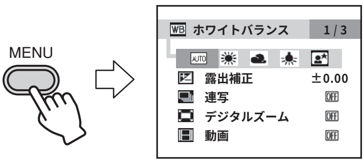
❶ 撮影/電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開ける

❷ さらに最後までスライドさせて電源を入れて、撮影モードにする

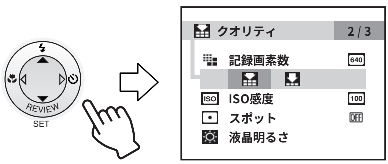


❸ [MENU]を押す

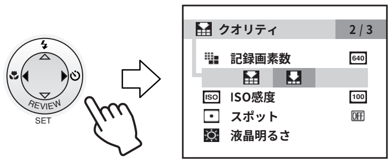
- カメラ設定メニューが表示されます。

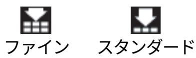


❹ [▲／▼] で「クオリティ」を選ぶ



❺ [◀／▶] で画質を選ぶ

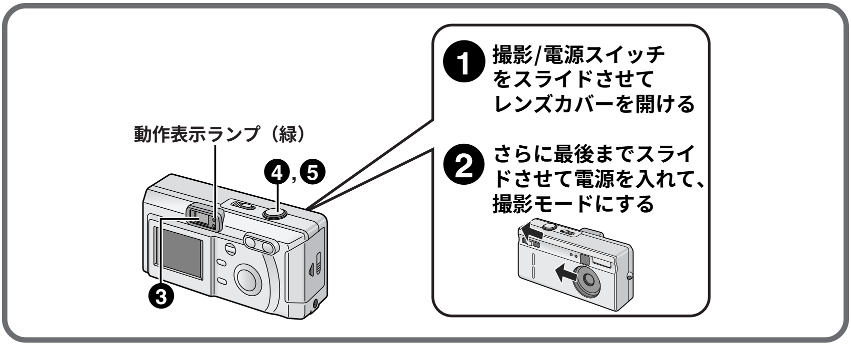




❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す

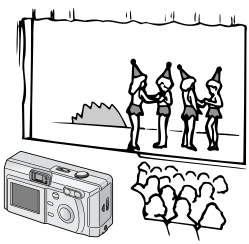
静止画を撮影する

お買い上げ時の状態ではフォーカスやシャッタースピード、明るさ、ホワイトバランスをカメラが自動的に調整するので簡単に撮影できます。（お買い上げ時の状態にする☞21ページ参照）



3 撮りたい被写体をファインダーで見る

- 液晶画面を見て撮影することもできます。



MEMO

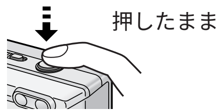
- 撮影した画像をすぐに見るときは、オートレビューの項目を「ON」に変更してください。

ご注意

- **メモリーカードに書き込まれるまで時間がかかります。**

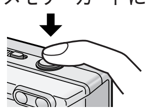
4 [シャッター]を半押しする

- フォーカス合わせを自動で行います。
- 被写体を中心から外して撮影する場合、まず被写体を中心にしてフォーカス合わせしてください。（AFロック）
- 動作表示ランプ（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。



5 [シャッター]を全押しする

- 画像がメモリーカードに記録されます。



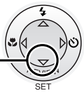
基本

撮影画像の確認と削除

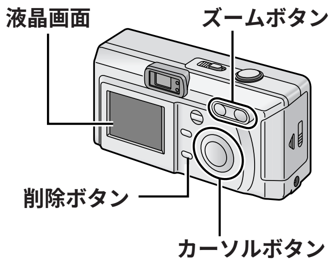
撮影した画像を撮影モードのまま簡単に再生するレビューモードやレビュー中の画像を拡大したり削除したりできます。

撮影中のレビューの操作

1. ［▼（REVIEW）］を押して撮影時の画像を表示させる



2. カーソル（◀/▶）で撮影済みの画像を選択することができます。
3. ［▼（REVIEW）］を押して撮影に戻る

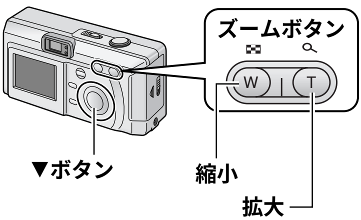


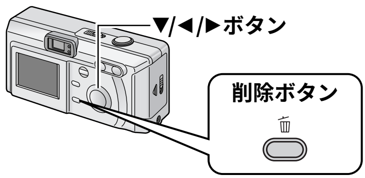
今撮影した画像を見たいとき

▼ボタンを押すと最後に撮影した画像を液晶画面に再生します。（レビュー機能）
再生中にズームボタン（Tボタン）を押すと画像の拡大(2.5 倍/4倍）ができます。
ズームボタン（W ボタン）を押すと縮小します。

今撮影した画像を削除したいとき

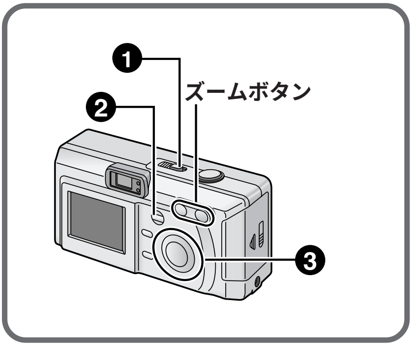
再生ズーム以外の表示のときに、削除ボタンを押します。
最後に撮影した画像が表示され、表示にしたがって▼/◀/▶ボタンで削除します。





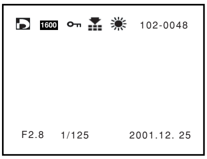
静止画を再生する

撮影した画像は１枚ずつ、番号が付けられて保存されます。保存された画像は１枚ずつ順に見ることができます。



❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

● 再生画面が表示されます。

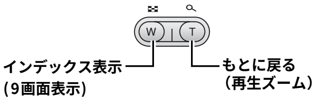


❷ [DISPLAY]で表示モードを選ぶ

● 押すたびに切り替わります。

フルサイズ（オンスクリーン付き）
↕
フルサイズ（オンスクリーン無し）

● ズームボタンでインデックス表示に切り替えることができます。



❸ [◀／▶] で再生する画像を選ぶ

ご注意

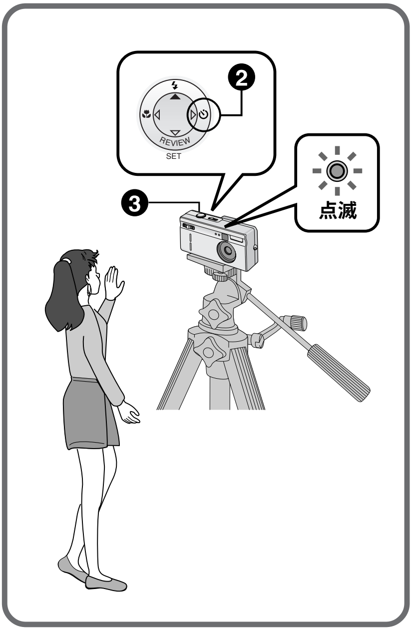
- **このようなときは、画像を再生できない場合があります。**
  - パソコンや本機以外で処理された画像。
  - 1600 × 1200、800 × 600、640 × 480 以外の画像サイズ。
- **メモリーカードに記録されている画像が多いときは、液晶画面に画像が出るまで時間がかかります。**
- **他機で撮影された静止画や動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。**

基本

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーはセットしてから 10 秒後または 2 秒後に自動的にシャッターが切れます。

自分自身を撮りたい場合や、手でシャッターボタンを押すとブレる心配のあるときに使用します。



1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

2 [⏲]を押し、時間をセットする

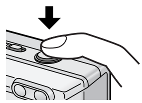


- 押すたびに、切り換わります。

オフ → 10秒「⏲10」→ 2秒「⏲2」

3 [シャッター]を全押しする

- セルフタイマーランプが点滅を始め、10秒または2秒後にシャッターが切れます。

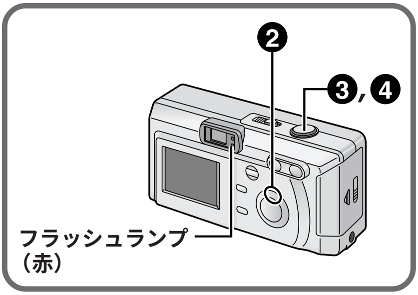




- 10 秒設定のときは、シャッターが切れるまでの時間が、残り 2 秒以内になるとセルフタイマーランプの点滅が早くなります。
- セルフタイマーを途中で解除したいときは、再度[シャッター]を「全押し」します。
- フォーカス合わせは[シャッター]を「半押し」したときにおこないます。
- 2 秒設定は、三脚のブレ防止に使用すると便利です。

フラッシュで撮影する

フラッシュ撮影したいときに使用します。
必要に応じて設定を変更してください。



オート ……被写体の明るさを判断して必要な場合に自動的にフラッシュを発光させます。

強制発光 ……明るい所でフラッシュを強制的に発光させるときに選択します。

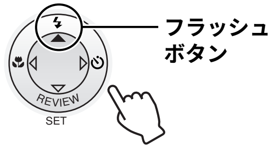
赤目軽減オート ……フラッシュが光ったときに人の瞳が赤くなるのをおさえるときに選択します。

スローシンクロ ……暗い所でシャッター速度を遅くして（スロー）フラッシュを近くの被写体に合わせて（シンクロ）撮影するときに選びます。
周囲が暗い時に三脚を使用して撮影すると遠くの夜景と近くの被写体（たとえば人物等）がきれいに撮影ができます。

切 ……フラッシュを発光させたくないときに選択します。シャッタースピードが遅くなりますのでブレ防止に三脚を使用してください。

1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

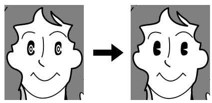
2 [ ] を押してフラッシュモードを選ぶ



- 押すたびに、切り換わります。

切「 」→ オート「 」→ 強制発光「 」→ 赤目軽減オート「 」→ スローシンクロ「 」→ 切

- 充電を開始するとフラッシュランプ（赤色）が点滅します。消灯すると充電完了です。



赤目軽減

3 [シャッター]を半押しする

- フラッシュランプが点灯するとフラッシュ発光での撮影ができます。

4 [シャッター]を全押しする

- 赤目軽減モードのときはフラッシュが2度発光します。1度目は赤目を軽減するための発光です。2度目の発光で実際の画像を記録します。

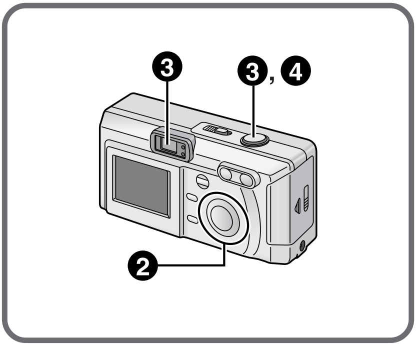
ご注意

- **連写および動画撮影時はフラッシュ操作できません。**
- **バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの設定が「切」になり、フラッシュランプが点滅します。**
- **フラッシュ充電中はフラッシュランプが速く点滅します。一方、フラッシュの設定が「スローシンクロ」または「切」のとき、暗いところなどで撮影すると、手ぶれ警告表示としてフラッシュランプがゆっくりと点滅します。そのとき マークも同時に表示されます。**

応用

フォーカスを合わせる

フォーカスを被写体の条件に合わせることができます。



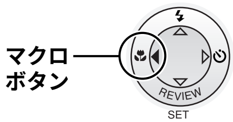
[AF]……**オートフォーカス（約 50cm ～ ∞）**
シャッターボタンを「半押し」したときに、自動的にフォーカス（ピント）を合わせます。

🌷……**マクロ**
約 10cm ～ 100cm 以内の撮影をするときに選びます。「半押し」したときに、自動的にフォーカスを合わせます。

▲……無限遠に焦点を合わせます。

1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

2 「🌷」を押し、フォーカスモードを選ぶ

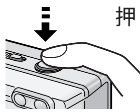


- 押すたびに、切り換わります。

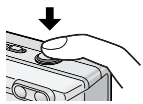
オートフォーカス「[AF]」→ マクロ「🌷」→ 無限遠「▲」→ オートフォーカス「[AF]」

3 ファインダーをのぞいて[シャッター]を半押しする

- DISPLAYボタンを押すと液晶画面を見て撮影できます。



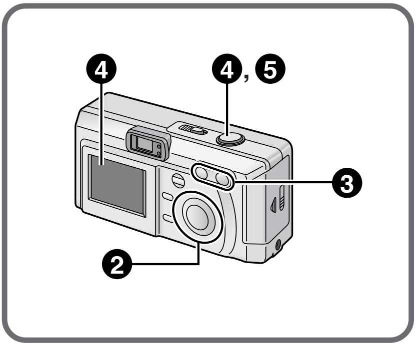
4 [シャッター]を全押しする



近接撮影する(マクロ)

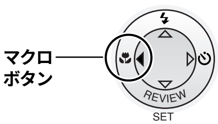
被写体までの距離が約10cm～100cm以内の撮影をするときは、マクロモードにして撮影します。

昆虫や植物をアップで撮影するときなどに適しています。

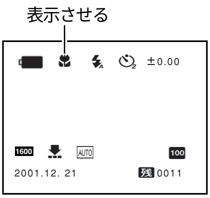


1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

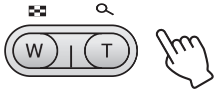
2 「🌷」を押し、マクロモード(🌷)を表示させる



- マクロモードにすると、自動的にズームがワイド側に移動します。



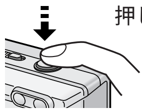
3 [ズーム]で被写体の大きさを調節する



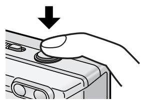
- ズームの移動範囲は制限されます。

4 液晶画面を見て[シャッター]を半押しする

- 動作表示ランプ(緑)が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。



5 [シャッター]を全押しする



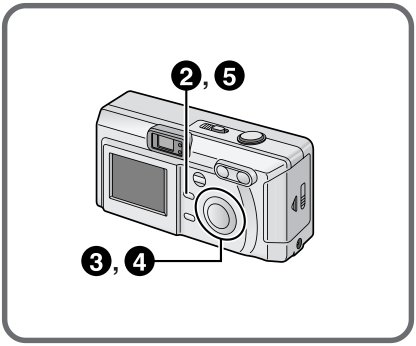
MEMO

- ズーム倍率は 1.4 倍までに制限されます。

応用

ホワイトバランスを調節する

画像が緑がかっていたり、赤み、青みを帯びているとき、ホワイトバランスを調節します。画像の色が特に不自然でなければ「オート」を選択します。

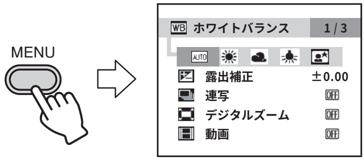


- AUTO **オート** ……自動的にホワイトバランスを調節するとき
- **（晴天）** ……晴れた日に屋外で撮影するとき
- **（曇り）** ……曇りの日や日陰で撮影するとき
- **（白熱灯）** ……ビデオライトなどで撮影するとき
- **（夜景）** ……夜景などを撮影するとき
- **セットモード**……あらかじめ被写体に合わせて設定しておいたホワイトバランスで撮影したいとき（☞41ページ）

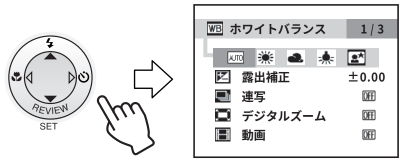
❶ 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

❷ [MENU]を押す

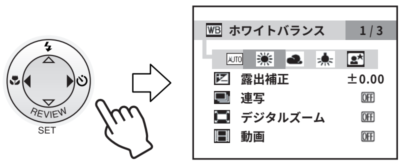
- カメラ設定メニューが表示されます。



❸ [▲／▼]で「ホワイトバランス」を選ぶ



❹ [◀／▶]でモードを選ぶ



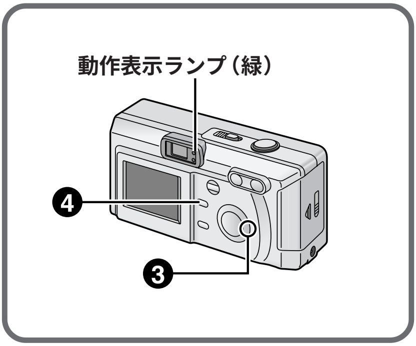
❺ [MENU]を押し、メニュー画を消す

MEMO

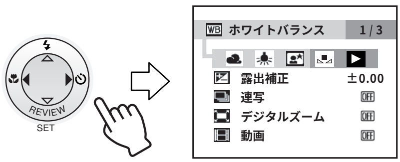
- 室内から屋外などに移動すると、色が合うまで時間がかかることがあります。
- 夜景を背景に人物をきれいに撮りたいときは、ホワイトバランス「夜景」に設定し、フラッシュ「スローシンクロ」に設定してからカメラ本体を三脚で固定して撮影してください。
- 「夜景」設定すると自動的にフラッシュが「スローシンクロ」になります。またフラッシュは「切」か「スローシンクロ」にしか設定できません。

お好みのホワイトバランスに調節する（セットモード）

あらかじめ用意されたホワイトバランス「晴天」、「曇り」、「白熱灯」、「夜景」または「オート」のいずれに合わせても自然な色の画像にならないとき、より最適な色になるよう手動でホワイトバランスを調節します。

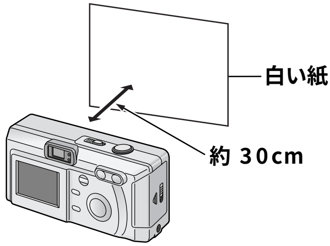


❶ 前ページ（☞40ページ）の手順❶から❹で「（セットモード）」を選ぶ

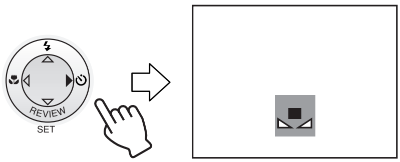


❷ レンズの前約30センチメートルの所に白い紙を置く

- 白い紙が画面いっぱいに写るようにします。



❸ [▶]を[ ]が表示されるまでまで押す



- [ ]が表示されたら完了です。
  ▶ボタンから指を離すとメニュー画面に戻ります。
- ▶ボタンを再度押して、調節をやり直すことができます。

❹ [MENU]を押し、メニュー画面を消す

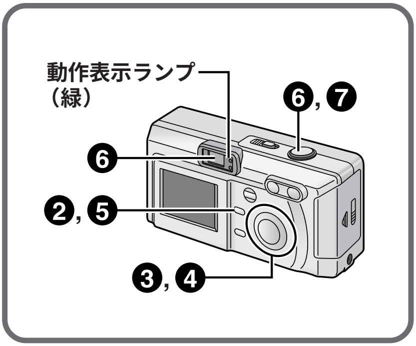
MEMO

- **調節した色のバランスは**
  「セットモード」に別のホワイトバランスを調節するまで記憶されています。

応用

明るさを補正して撮影する(露出補正)

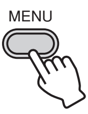
逆光などにより被写体が白などの場合に暗くなってしまったりする時があります。このようなときには露出補正でお好みの明るさにします。本機では± 2 絞り分 0.25EV（エクスポージャバリュー）刻みで調節できます。

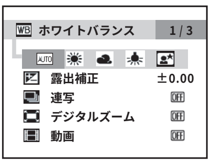


1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

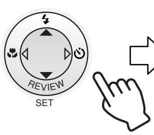
2 [MENU]を押す

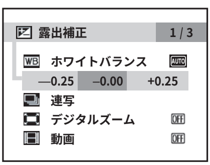
● カメラ設定メニューが表示されます。



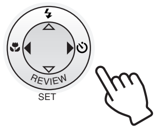


3 [▲／▼] で「露出補正」を選ぶ





4 [◀／▶]で補正値を選ぶ



● 「◀ / ▶ 」を押すたびに、切り換わります。

−2.0 ◀··· −0.25 ◀··· ±0 ···▶ +0.25 ···▶ +2.0

暗くなる ◀━━ • ━━▶ 明るくなる

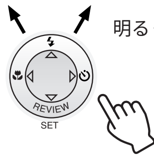


(—2.0 EV)



(+2.0 EV)

暗くなる　明るくなる



5 [MENU]を押し、メニュー画を消す

6 ファインダーをのぞいて[シャッター]を半押しする

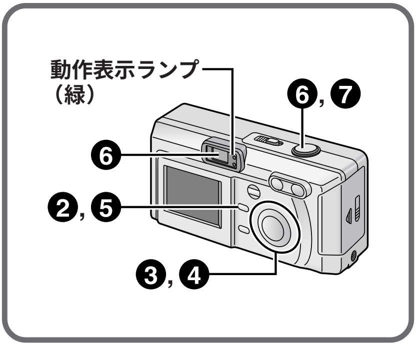
● 動作表示ランプ(緑)が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。

● DISPLAYボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

7 [シャッター]を全押しする

連続して撮影する（連写）

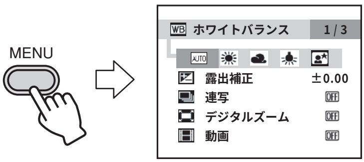
被写体を連続で５枚撮影することができます。



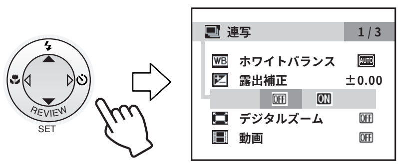
❶ 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

❷ [MENU]を押す

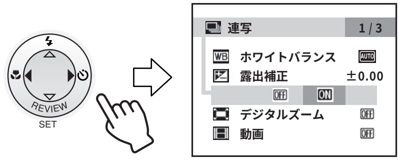
● カメラ設定メニューが表示されます。



❸ [▲／▼]で「連写」を選ぶ



❹ [◀／▶]で「ON」を選ぶ



❺ [MENU]を押し、メニュー画を消す

❻ ファインダーをのぞいて[シャッター]を半押しする

● 動作表示ランプ（緑）が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。
● DISPLAYボタンを押すと、液晶画面を見て撮影できます。

❼ [シャッター]を全押しする

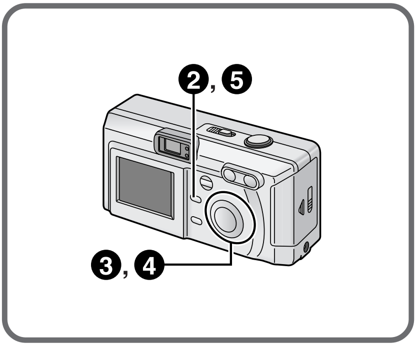
● 約4コマ／秒で5枚撮影します。
● フラッシュ設定は、「切」になります。

ご注意

● **単写撮影時に比べて画像サイズが小さくなるため、画質が劣化する場合があります。また液晶モニターに表示される撮影残り枚数は撮影枚数と一致しない場合がありますが、異常ではありません。**

ISO感度を変える

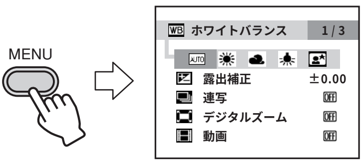
フラッシュを使用できない場所や暗い場所での撮影に感度設定を変えることができます。



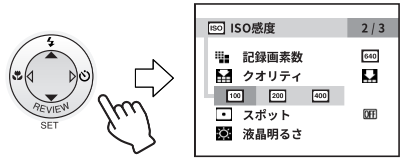
❶ 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

❷ [MENU]を押す

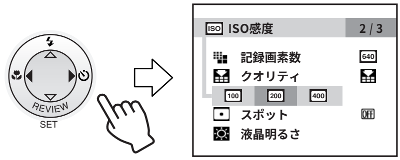
● カメラ設定メニューが表示されます。



❸ [▲／▼] で「ISO感度」を選ぶ



❹ [◄／►] で数値を選ぶ



❺ [MENU]を押し、メニュー画を消す

MEMO

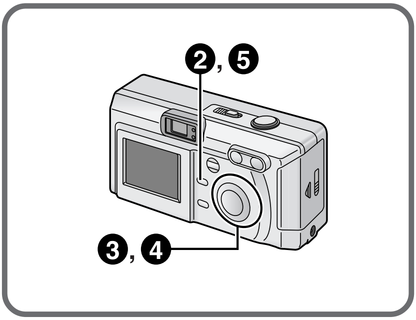
● 感度設定値は、ISO 準拠です。

ご注意

● **ISO感度を高くして撮影すると、画面のノイズが多くなることがあります。**

AF(自動焦点)/AE(自動露出)のエリアを変える

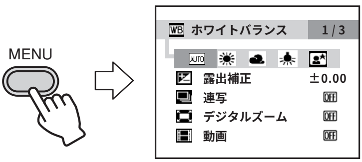
本機は、初期状態（お買い上げ時）でスポット測光「OFF」に設定されています。合わせたいポイントに露光が合わない場合は、スポット測光「ON」に設定を変えて撮影します。このとき、オートフォーカスのエリアも中央に設定されます。



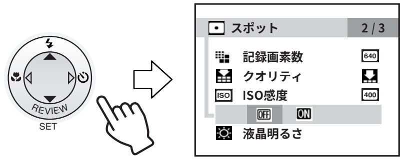
1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

2 [MENU]を押す

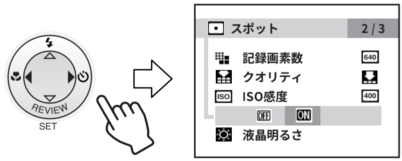
● カメラ設定メニューが表示されます。



3 [▲／▼]で「スポット」を選ぶ



4 [◄／►]で「ON」を選ぶ

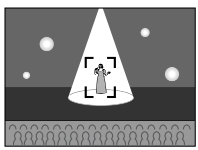


5 [MENU]を押し、メニュー画を消す



● **スポットとは**
画面の狭い中央の一部分を測光する方式です。スキー場での人物、舞台で照明の当たった人物など、写したい被写体とその周囲の明暗差が多い場合に使用します。

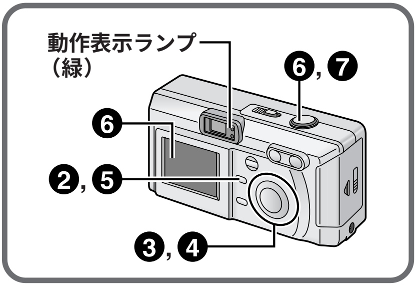
● スポット測光が「OFF」のときは、評価測光になります。



ズームの倍率を変えて撮影する（デジタルズーム）

記録画素数によっては、現在の画質をそこなう事なく拡大できます。記録画素数が800×600または640×480のときに変えてください。（☞31 ページ）

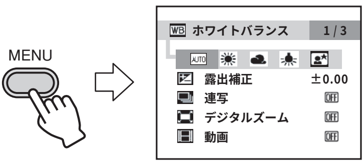
- **画像サイズが 1600 × 1200 の場合は、ズーム倍率を変えることができません。**
- **DISPLAYボタンを押しても、液晶画面を消せなくなります。**



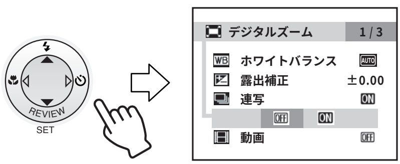
❶ 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

❷ [MENU]を押す

- カメラ設定メニューが表示されます。



❸ [▲／▼]で「デジタルズーム」を選ぶ

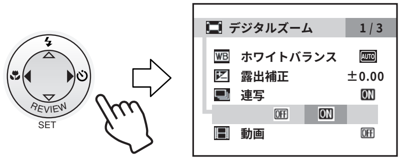


❹ [◀／▶]で「ON」を選ぶ

- 記録画素数によりズーム倍率が変わります。

800 ×600 ：2倍

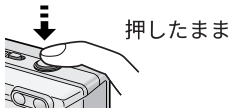
640 ×480 ：2.5倍



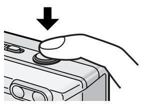
❺ [MENU]を押し、メニュー画を消す

❻ 液晶画面を見て[シャッター]を半押しする

- 動作表示ランプ(緑)が点滅から点灯に変わったら撮影ができます。



❼ [シャッター]を全押しする

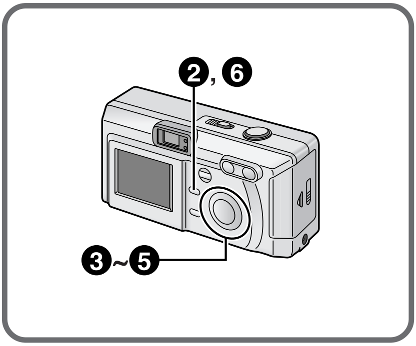


ご注意

- **「デジタルズーム」メニューを「ON」にしているときに、「動画」メニューを「ON」に設定すると、「デジタルズーム」メニュー表示は「ON」のままですが、実際は機能しません。「動画」メニューを「OFF」に戻すと、「デジタルズーム」メニューは選択されている動作に戻ります。**

カメラ設定を初期状態に戻す

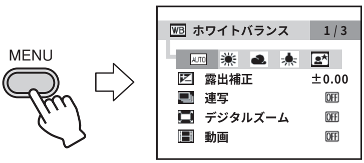
カメラ設定を初期状態(お買い上げ時)に戻して撮影するときに行います。



1 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

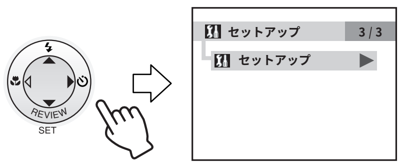
2 [MENU]を押す

- カメラ設定メニューが表示されます。

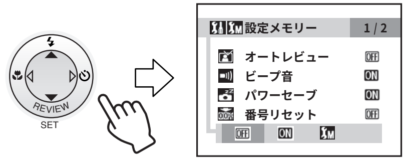


3 [▲／▼]で「セットアップ」を選び、[▶]を押す

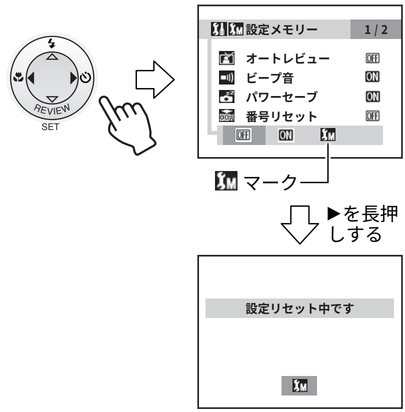
- 3/3ページを表示させます。
- セットアップメニューが表示されます。



4 [▲／▼]で「設定メモリー」を選ぶ



5 [◀／▶]で「」を選び、[▶]を長押しする



6 [MENU]を押し、メニュー画を消す

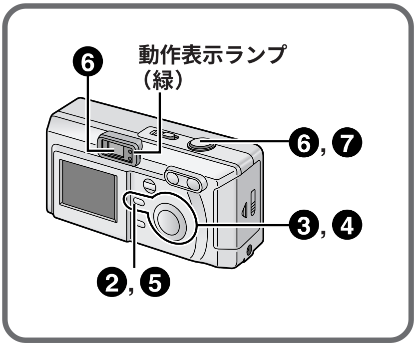
ご注意

- **時計設定は、設定リセットを実行しても、初期状態に戻りません。**

応用

動画を撮影する

被写体を動画として最長20秒間記録できます。

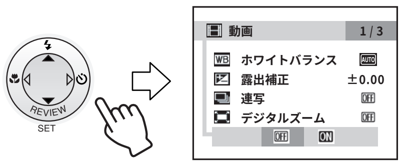


❶ 撮影/電源スイッチをスライドして電源を入れる

❷ [MENU]を押す

- カメラ設定メニューが表示されます。

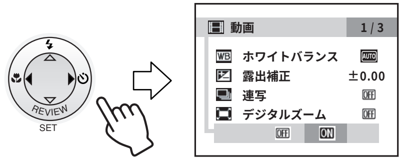
❸ [▲／▼]で「動画」を選ぶ



MEMO

- 「動画」メニューがONになっているときは、「連写」、「記録画素数」、「クオリティ」、「デジタルズーム」メニューはスキップして選択できません。

❹ [◀／▶]で「ON」を選ぶ



❺ [MENU]を押し、メニュー画を消す

❻ ファインダーをのぞいて[シャッター]を全押しする

- 動画を撮影中は、動作表示ランプ(緑色)が点滅します。
- 約20秒で停止します。
- 音声は記録されません。
- 画像サイズは320×240になります。

❼ 動画撮影を途中で止めるときは[シャッター]を押す

- 動画撮影終了後、画像をメモリーカードに記録中は、動作表示ランプ(緑色)が点滅し、記録が終わると点灯します。メモリーカードへの記録中は何も操作をしないでください。

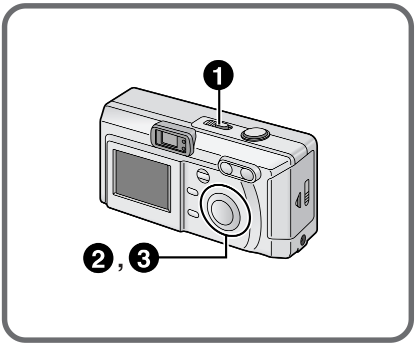
ご注意

- **動画撮影をするときは、フラッシュ操作はできません。**
- **「デジタルズーム」メニューを「ON」にしているときに、「動画」メニューを「ON」に設定すると、「デジタルズーム」メニュー表示は「ON」のままですが、実際は機能しません。「動画」メニューを「OFF」に戻すと、「デジタルズーム」メニューは選択されている動作に戻ります。**

いろいろな再生

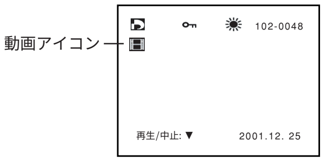
動画を再生する

撮影した動画を液晶画面でチェックすることができます。



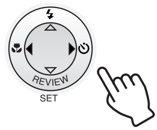
❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

- 再生画面が表示されます。

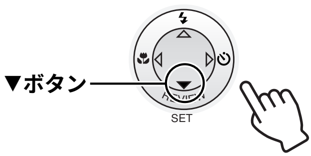


❷ [◀／▶] で動画アイコン付きの画像を選ぶ

- 選んだ動画が静止状態で表示されます。



❸ [▼] を押し、動画を再生する



- 途中で停止するときは、再度［▼］を押します。
- 他のファイルを選ぶときは［◀／▶］を押します。

MEMO

- メモリーカードに圧縮されたデータを伸長処理して再生します。データ形式はQuickTime™モーションJPEG準拠です。

ご注意

- **他機種で撮影された動画を再生できない場合があります。**

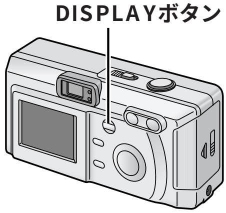
応用

静止画の再生表示について

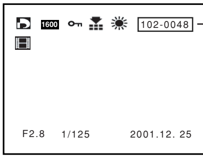
再生表示は DISPLAY ボタンを押して表示モードを切り換えます。

［DISPLAY］を押すたびに、切り換わります。

フルサイズ（オンスクリーン付き）
↕
フルサイズ（オンスクリーン無し）



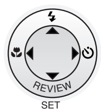
静止画



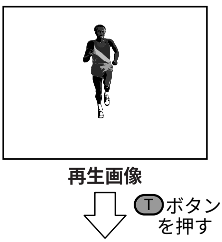
再生ズームする

画像を再生中に[ズーム]を押して再生画像を拡大したり戻したりできます。





「▲／▼／◀／▶」ボタンで、ズームしたいところを確認する。



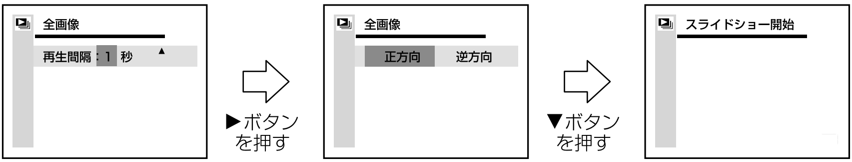


スライドショーを見る

再生メニューを表示(☞19ページ)させて[▲／▼]で「スライドショー」を選びます。
[MENU]を押すと、スライドショーを終了できます。



☞ 全画像を見るときに選びます。
☞ DPOF設定した画像を選びます。



1～10秒まで▲/▼ボタンで選びます。

◀/▶ボタンで画像を表示する方向を選びます。

スライドショーがスタートします。

ご注意

- **他機でスライドショー設定された画像を本機でDPOF設定するとスライドショーは解除され、DPOFスライドショーになります。**

SDスライドショーについて

付属のCD-ROMのソフトウェア「SD Viewer for DSC」で編集されたSDスライドショーのデータが記録されているカードを入れると、再生画面を表示したときに「SDスライドショー 開始します」というメッセージが出ます。[▼]を押すとSD Viewer for DSCで設定されたSDスライドショーが始まります。

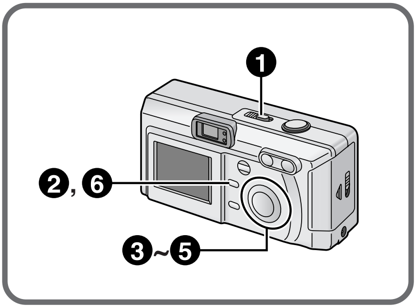
通常再生にするときは[MENU]を押してください。

ご注意

- **撮影モードから再生/電源スイッチをスライドさせて再生モードに切り換えたとき(レンズが出た状態)、SDスライドショーは実行されません。**

画像の削除を防止する(プロテクト)

必要な画像にプロテクト（削除防止）をかけておくことができます。必要な画像を誤って削除することが防げます。

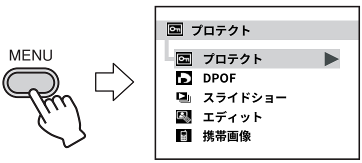


❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

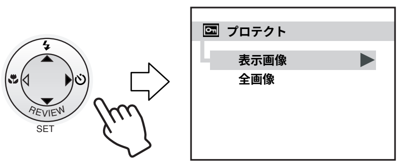
●再生画面が表示されます。

❷ [MENU]を押す

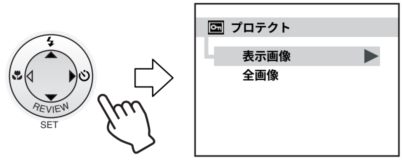
●再生メニューが表示されます。



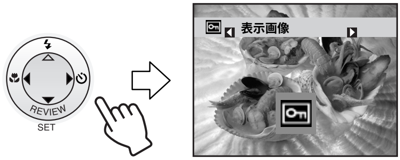
❸ [▲／▼]で「プロテクト」を選び、[▶]を押す



❹ [▲／▼] で「表示画像」を選び、[▶]を押す



❺ [◀／▶]で画像を選び、[▼]を押す



●O┳（プロテクト表示）が表示されます。

●プロテクトを解除したいときは、手順1～5を繰り返して表示を消してください。

❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す

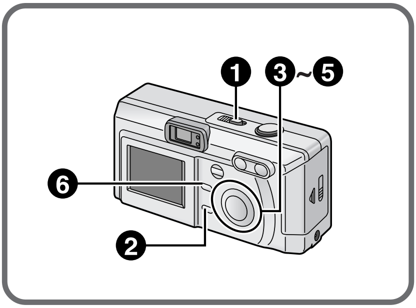
●全画像プロテクトについても同様な操作を行ないます。

ご注意

●画像をプロテクトしていてもフォーマットした場合は削除されます。必要な画像はパソコンなどに転送して保存してください。

画像を削除する

撮影した画像を削除します。「一枚削除」と「全画像削除」があります。

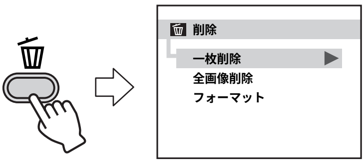


❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

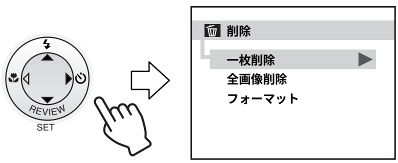
●再生画面が表示されます。

❷ [🗑]を押す

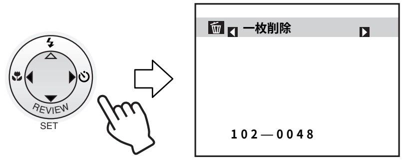
●削除メニューが表示されます。



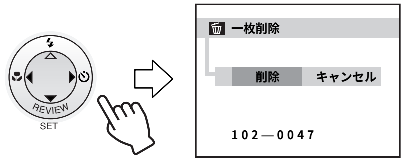
❸ [▲／▼] で「一枚削除」を選び、[▶]を押す



❹ [◀／▶]で削除する画像を選び、[▼]を押す



❺ [◀／▶]で「削除」を選び、[▼]を押す



❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す

●全画像削除のときも同様な操作を行ないます。

●9画面表示しているときは▲/▼/◀/▶で画像を選んでから[🗑]を押して、削除してください。

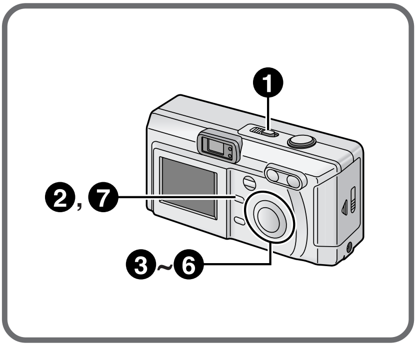
ご注意

●プロテクトされている画像も不要なときは、プロテクトを解除してください。

●削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。付属のACアダプターをご使用ください。

画像に特殊効果をつける（エディット）

画像に白黒やセピア色など、反転の特殊効果や日付けを挿入することができます。

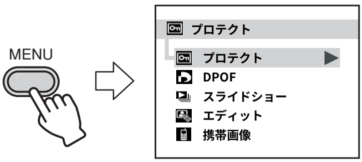


1 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

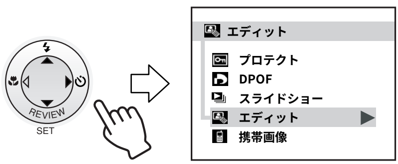
- 再生画面が表示されます。

2 [MENU]を押す

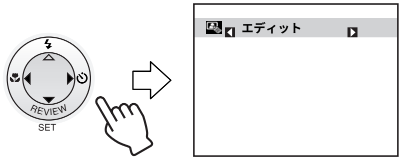
- 再生メニューが表示されます。



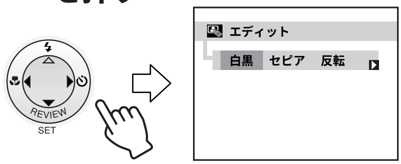
3 [▲／▼]で「エディット」を選び、[▶]を押す



4 [◀ ／▶] で画像を選び、[▼]を押す



5 [◀／▶]で「白黒／セピア／反転／日付」から選び、[▼]を押す



- [◀／▶]を押すごとに

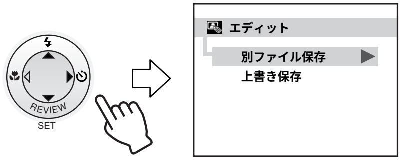
白黒　：カラーから白黒に変換します。

セピア：セピア色にして古い白黒写真のような効果を出します。

反転　：ネガフィルムやポジフィルムのような効果を出します。

日付　：日付を追加します。
（☞56ページ）

❻ [▲／▼]で「別ファイル保存／上書き保存」から選び、[▶]を押す

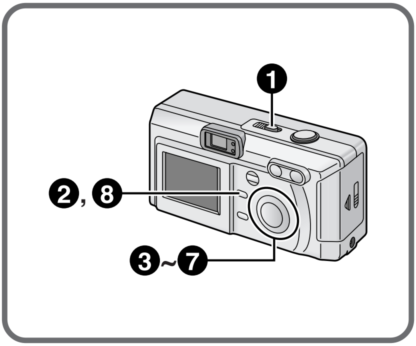


❼ [MENU]を押し、メニュー画を消す

- 日付を付けたいときは、☞56ページをご覧ください。
- メモリーカードの残容量が少ないときは、「別ファイル保存」はできません。

日付を入れる

再生画像に日付を付けることができます。

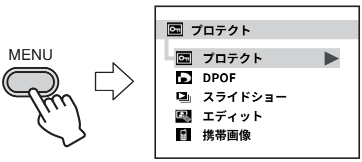


❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

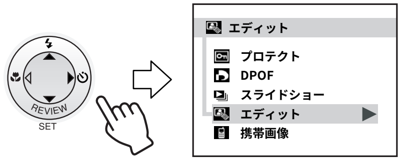
●再生画面が表示されます。

❷ [MENU]を押す

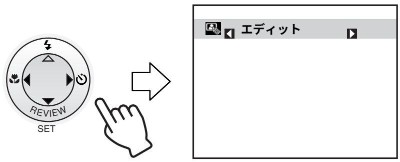
●再生メニューが表示されます。



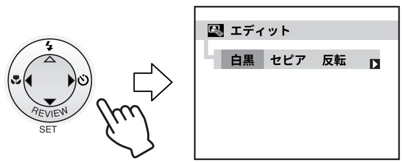
❸ [▲／▼]で「エディット」を選び、[▶]を押す



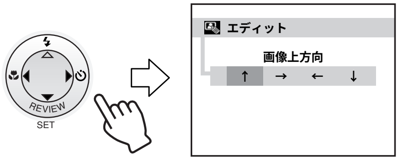
❹ [◀ ／ ▶] で画像を選び、[▼]を押す



❺ [◀／▶]で「日付」を選び、[▼]を押す

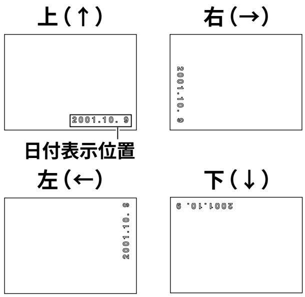


❻ [◀／▶] で画像の向きを選び、[▼]を押す



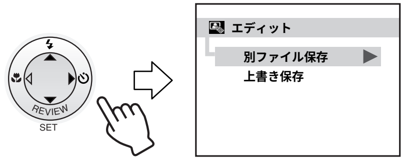
- [◀／▶]を押すたびに、切り換わります

上方向(↑)↔右方向(→)↔左方向(←)↔下方向(↓)



- 再生画像の上方向を決めてください。

❼ [▲／▼]で「別ファイル保存／上書き保存」から選び、[▶]を押す



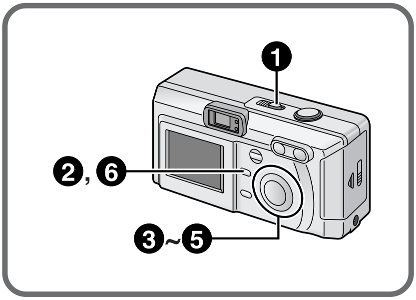
❽ [MENU]を押し、メニュー画を消す

便利な機能

携帯画像の作成

携帯電話 / feel H” へ SD メモリーカード経由で受け渡しするための画像(320×240画素)を作成します。

この機能を使うと DPOF 自動送信ファイル(AUTXFER.MRK)が SD メモリーカードにつくられます。携帯電話 /feel H ” の DPOF 機能によりファイル内の画像が自動的に選択され、簡単にメールに添付することができます。作成された画像は SD メモリーカードスロット付きの一部の携帯電話/ feel H”(2001年9月現在の対応機種は KX-HS100、KX-HF300、KX-HS110)で使えます。

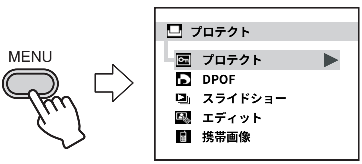


1 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

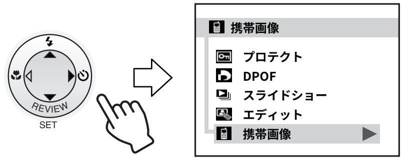
● 再生画面が表示されます。

2 [MENU]を押す

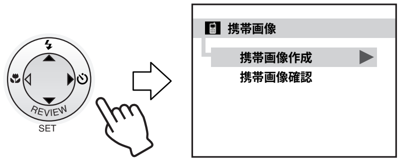
● 再生メニューが表示されます。



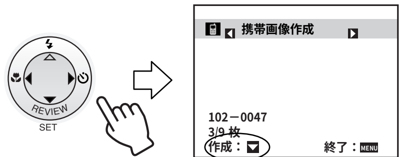
3 [▲／▼]で「携帯画像」を選び、[▶]を押す



4 [▲／▼]で「携帯画像作成」を選び、[▶]を押す



5 [◀ ／ ▶] で画像を選び、[▼]を押す



この部分に マークが表示されたら
この画像から作った携帯画像があるときに表示されます。

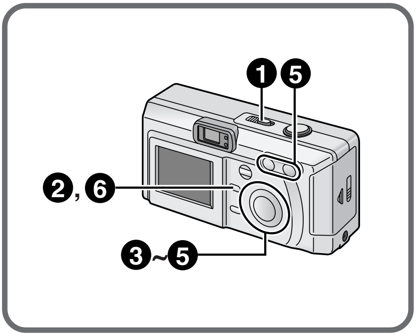
6 [MENU]を押し、メニュー画を消す

MEMO

● 携帯電話または feel H”の接続や操作のしかたについては、お使いの携帯電話または feel H” の取扱説明書をご覧ください。

携帯画像の確認

作成した携帯用の画像を一覧で見ることができます。

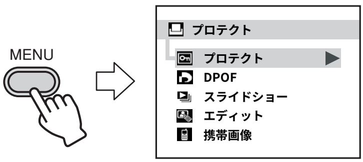


❶ 再生[▶]／電源スイッチをスライドする

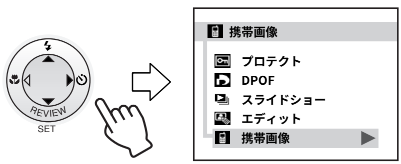
● 再生画面が表示されます。

❷ [MENU]を押す

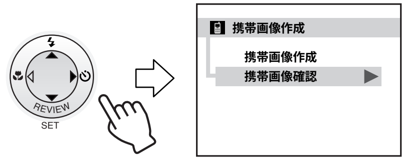
● 再生メニューが表示されます。



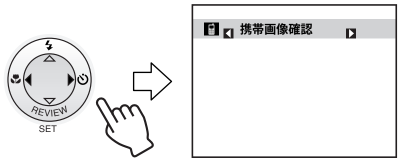
❸ [▲／▼]で「携帯画像」を選び、[▶]を押す



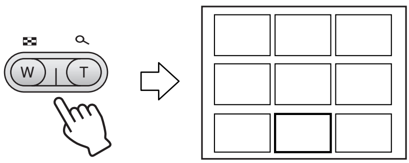
❹ [▲／▼]で「携帯画像確認」を選び、[▶]を押す



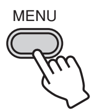
❺ [◀／▶] で確認したい画像を選ぶ



● インデックスで画像を選ぶときは、
① [W(ズーム)]を押して、インデックスを表示させる
② [▲／▼／◀／▶]で確認したい画像を選び、[T(ズーム)]を押す



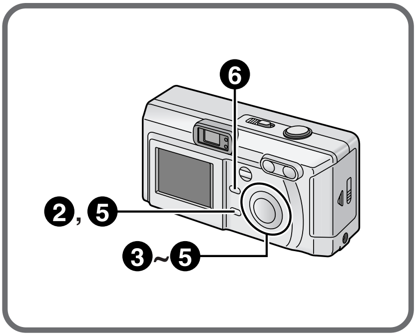
❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す



応用

携帯画像の削除

作成した携帯画像を削除します。「一枚削除」と「全画像削除」があります。

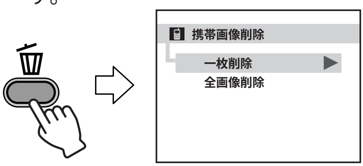


❶ 前ページ(☞59)の手順❶～❹で、「携帯画像確認」画面を表示する

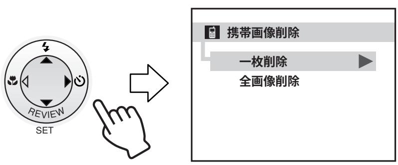
● 携帯画像が液晶画面に表示されます。

❷ [🗑]を押す

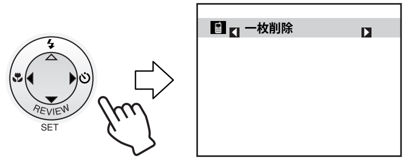
● 携帯画像削除メニューが表示されます。



❸ [▲／▼] で「一枚削除」を選び、[▶]を押す

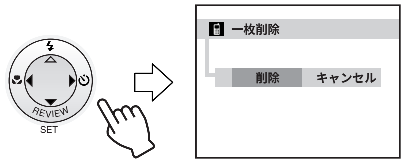


❹ [◀／▶]で削除する画像を選び、[▼]を押す



❺ [◀／▶] で「削除」を選び、[▼]を押す

● [🗑]を押すこともできます。



❻ [MENU]を押し、メニュー画を消す

● 全画像削除のときも同様な操作を行います。

MEMO

● **一枚削除の場合**
続けて削除することもできます。削除した１つ前の画像を表示します。
● **全画像削除の場合**
全ての携帯画像を削除します。元には戻りません。
● 静止画の画像は削除されません。

携帯電話につなぐ

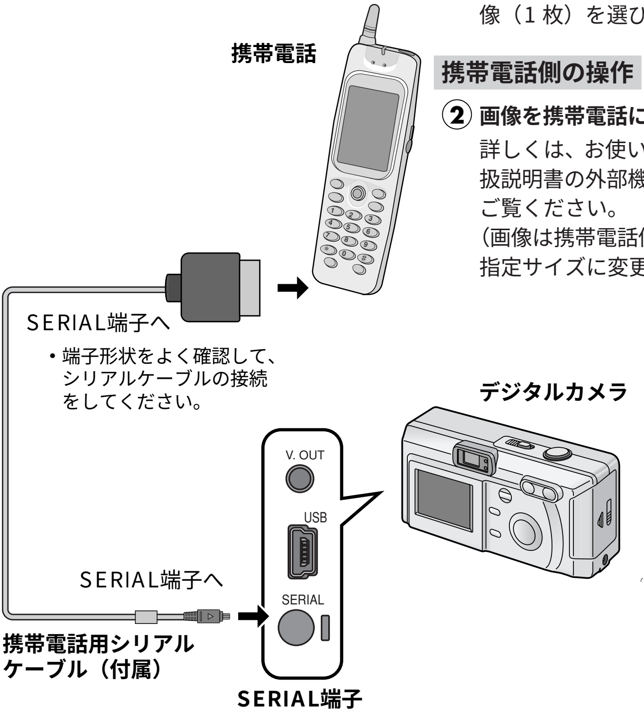
本機で撮影した静止画を携帯電話(KDDI 社のau cdmaOne)の壁紙や着信画面、Eメールの添付用の画像として自動的にリサイズ(小さくする)してシリアルケーブル(付属)を使って携帯電話へ転送することができます。

本機側の操作

① (☞35ページ)手順❶〜❸で画像(1 枚)を選び表示する

携帯電話側の操作

② **画像を携帯電話に取り込むときは**
詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書の外部機器接続の項目をご覧ください。
(画像は携帯電話側の操作により、指定サイズに変更されます。)



MEMO

● 携帯電話の適用機種については同封のリストをご覧ください。

feel H" につなぐ

本機で撮影した静止画を feel H" の壁紙や着信画面、E メールの添付用の画像として自動的にリサイズ(小さくする)してシリアルケーブル(付属)を使って feel H" へ転送することができます。

本機側の操作

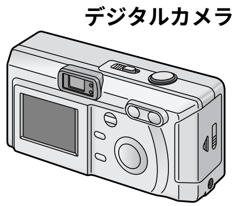
① （☞35ページ）手順❶～❸で画像（1 枚）を選び表示する

feel H" 側の操作

② **画像を feel H" に取り込むときは**

詳しくは、お使いの feel H"の取扱説明書の外部機器（カメラユニットなど）の接続の項目のページをご覧ください。
（画像は feel H"側の操作により、指定サイズに変更されます。）

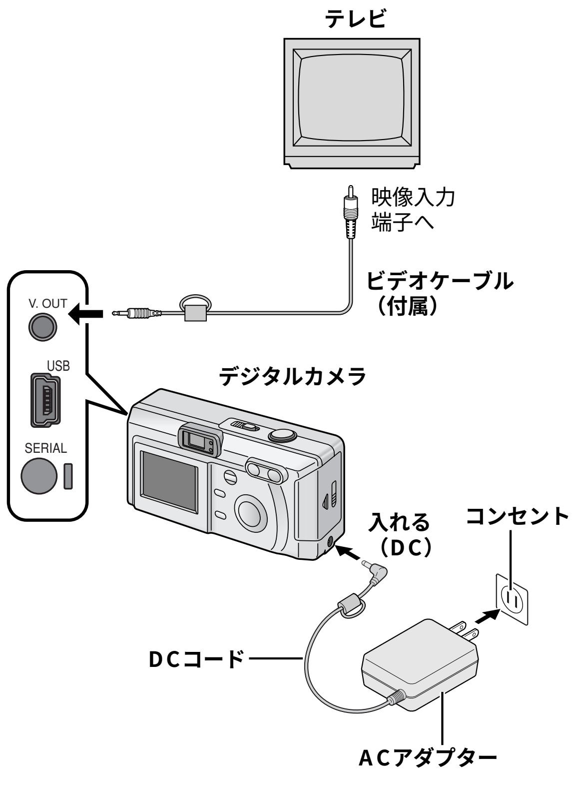




● feel H" の適用機種については同封のリストをご覧ください。

テレビにつなぐ

撮影した画像をテレビで見ることができます。



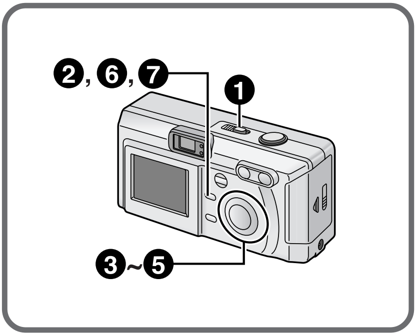
MEMO

- 本機の操作は ☞35 ページをご覧ください。
- テレビでは斜めの線などがギザギザして見えます。
- テレビの接続や操作のしかたについては、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

応用

プリント情報を書き込む（DPOF設定）

プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込むことができます。

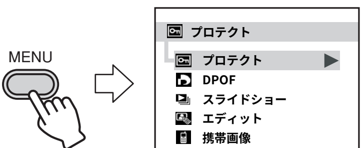


❶ 再生▶／電源スイッチをスライドする

- 再生画面が表示されます。

❷ [MENU]を押す

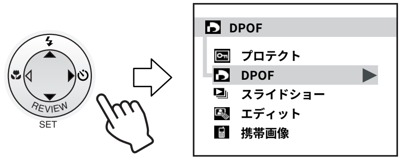
- 再生メニューが表示されます。



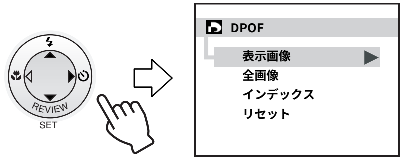


※ DPOF とは、Digital Print Order Format の略で、DPOF 設定しメモリーカードに書き込んだデータは、この規格に準拠しています。
- 各画像は、15枚まで設定できます。

❸ [▲／▼]で「DPOF」を選び、[▶]を押す

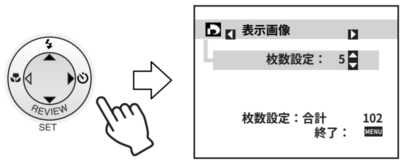


❹ [▲／▼] で「表示画像」を選び、[▶]を押す



❺ [▲／▼]で「枚数」を選び、[▶]を押す

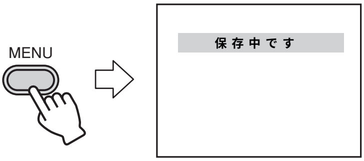
- 必要に応じて[◀/▶]で画像を選択します。



ご注意

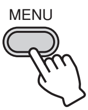
- **他機でスライドショー設定された画像を本機で DPOF 設定するとスライドショーは解除され、DPOF スライドショーになります。(P51)**

❻ ［MENU］を押して保存する



- DPOFファイルをメモリーカードに書き込みます。
- 保存が終了すると手順❹にもどります。

❼ ［MENU］を押し、メニュー画を消す

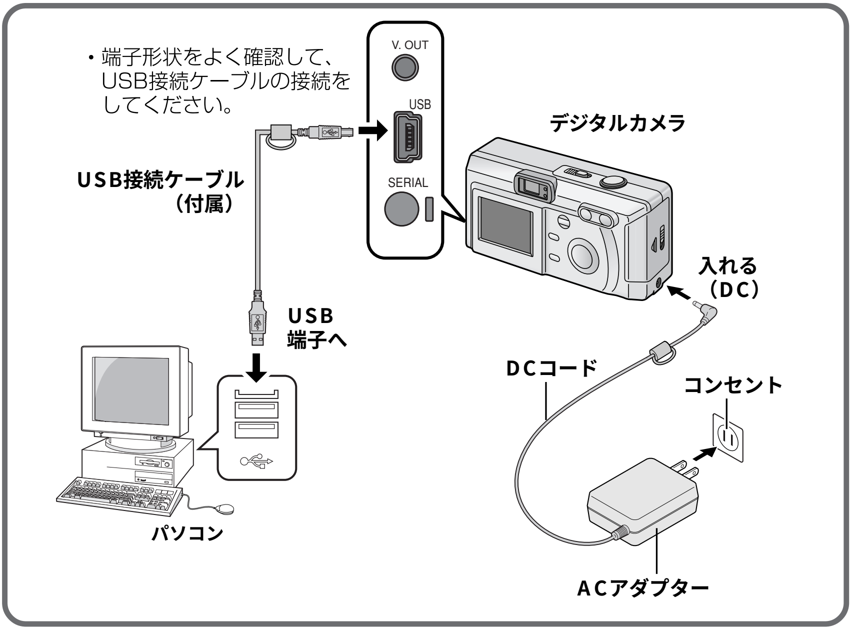


- **DPOF設定について**

  手順❹で以下の設定が可能です。
  - ・全画像.............. 他で設定したDPOF設定も解除し、全画像に対して枚数設定ができます。
  - ・インデックス ..... 撮影した全画像のインデックス設定ができます。
  - ・リセット .... DPOF設定を解除します。

応用

パソコンと接続する



ご注意

- **本機で動画撮影すると、動画ファイル(MOV形式)と静止画ファイル(JPEG形式)が作成されますが、付属のソフト「SD Viewer for DSC」で動画ファイルのサムネイルは表示されません。**
- **USB接続ケーブルを使って本機とパソコンを接続した場合、サムネイル形式では画像を表示できますが、ファイル形式では表示できない場合があります。一度パソコンにファイルをコピーしてから画像を開いてください。**
- **付属のソフト「SD Viewer for DSC」でDPOF設定された画像は本機ではDPOFスライドショー(P51)できません。DPOF設定は本機で行ってください。**

MEMO

- パソコンに画像データをコピーしたいときは、本機に画像データが記録されているメモリーカードを入れてください。(☞26ページ)
- パソコンと接続して使うときは、付属のACアダプターをお使いください。
- 詳しくは別冊のUSB接続キット編をお読みください。
- 本機とパソコンをUSB接続ケーブルで接続するときは、パソコン側で接続機器の認識ができないことがありますので、両方の電源を入れたあとにUSB接続ケーブルを接続しますが、故障の原因にはなりません。

使用上のご注意

液晶画面について

■ **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**

傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**

液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはメモリーカードには記録されません。

レンズや液晶画面の汚れを取る

■ **レンズの汚れを取るには**

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ **液晶画面の汚れを取るには**

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

バッテリーについて

- リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、撮影直前にデジタルカメラに取り付けてください。（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないように、ご注意ください。）
- 充電は10℃～35℃の温度範囲でおこなってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させる恐れがあります。また、低温で充電すると、十分な充電がされません。
- 充電後や使用後はバッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 長時間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性のものや、化学雑巾などで拭くと、変質したり故障の原因になるおそれがあります。

■ **バッテリーを正しく保存するためのご注意**

- 使用しない時は、温度が上がらない乾燥したところに保存してください。
- ご使用にならないときは、ACアダプターやデジタルカメラからはずして保管してください。また、保護カバーが付いているときは、保護カバーを使用して保管してください。
- 長時間ご使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。また、使用時間が短くなることがあります。
- 長期間保存する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保存してください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
- お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店•サービスセンター•販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。
(ホームページ:http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

Li-ion

リチウムイオン電池使用

故障かな？と思ったら

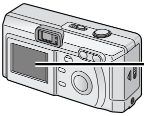
このデジタルカメラはマイコンを使用しています。雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはデジタルカメラから電源（バッテリー、ＡＣアダプターなど）を外し、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはパナソニックサービス窓口にご相談ください。（☞72 ページ）

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	**電源が入らない**	●バッテリーが充電されていますか？ 電源は正しく接続されていますか？ ●撮影／電源スイッチは最後までスライドされていますか？	24 3
電源	**フラッシュ撮影時に電源が切れた**	●フラッシュ撮影ではバッテリー残量が半分を表示していても、電源が切れることがあります。	—
撮影中	**撮影できない**	●撮影／電源スイッチは最後までスライドされていますか？	3
撮影中	**画像が出ない**	●液晶モニターが OFF になっていませんか？ DISPLAY ボタンを押してみてください。	17
撮影中	**メニューの機能が使えない**	●液晶モニターが OFF になっていませんか？ DISPLAY ボタンを押してみてください。	17
撮影中	**シャッターボタンの半押しでピントが合わない**	●暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？	44
撮影中	**太陽光が映ると、画面が一瞬暗くなったり、黒くなったりする**	●故障ではありません。	—
撮影中	**液晶画面の映像が暗い、または白くなる**	●メニュー画面で明るさを調節してください。 ●寒い場所で画像を再生していませんか？寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのパナソニックサービス窓口にご相談ください。	23 — 67
撮影中	**「メモリーがいっぱいです」が表示された**	●メモリーがいっぱいで、撮影ができなくなると表示します。空きのあるメモリーカードを使用するか、画像をパソコンに保存してからカメラの画像を削除し、メモリーの空きをつくります。	—
撮影中	**カメラ画の View 画（液晶画面）の水平エッジ部にカラーノイズが出る**	●故障ではありません。記録される画像とは異なります。	—

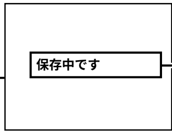
	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	**何枚か残っているのに撮影ができなくなった**	●残りの撮影枚数表示は目安です。 撮影画像によっては、0 になる前に撮影ができなくなります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に小さな光る点や黒い点が出る	●液晶画面は非常に精度の高い技術でつくられており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。	67
	SD メモリーカードが初期化（フォーマット）できない	●プロテクトスイッチが書き込み禁止になっていませんか？ SD メモリーカードのデータ内容を確認して、バックアップしてあればプロテクトスイッチを戻してフォーマットしてください。	26
	カメラの View 画（液晶画面）に太陽や強い光の光源をうつすと上下に色つきの帯が出る	●故障ではありません。記録される画像とは異なります。	—
	設定した内容が記憶されない	●設定メモリーが「OFF」になっていませんか？ 「ON」にしてください。	21
	DISPLAY ボタンを押しても液晶画面を消せない	●デジタルズームが「ON」になっていませんか？ 「OFF」にしてください。	46

お知らせ表示

本機編



液晶画面表示



お知らせ表示
オンスクリーン表示がオフの
場合は表示されません。

表　示	対処内容	参照
メモリーが いっぱいです	メモリーカードの容量がいっぱいです。新しいメモリーカードに交換したり、不要な画像を削除して撮影可能な枚数を増やしてください。	26 53
日付が設定されていません	日付が未設定です。日付設定を行ってください。	22
書込禁止です	メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）になっています。記録内容を確認して新しいメモリーカードに交換またはプロテクト解除（スイッチを戻す）してください。	26
表示できる画像がありません	メモリーカードに何も記録されていないときに再生にすると表示されます。	35
メモリーカードがありません	・メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。 ・メモリーカードの電極面がほこりや指紋などで汚れています。やわらかい布などで汚れを落としてください。	26
メモリーカードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください。	27
エディット中です	エディット処理中に表示されます。	54
保存中です	画像データをメモリーカードに保存中に表示されます。	55

表　示	対処内容	参照
削除中です	画像データを削除している時に表示されます。	53
プロテクトされています	表示中のプロテクトされた画像を削除しようとした時に表示されます。	52 53
フォーマット中です	メモリーカードをフォーマットしている時に表示されます。	27

サービス窓口案内

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル 0120-878-236

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中　部　地　区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近　畿　地　区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中　国　地　区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四　国　地　区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九　州　地　区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖　縄　地　区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。(ソフトウェアの内容は含まれません)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「パナソニックサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

80〜83ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびメモリーカードなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルカメラ
型　　名	DMC-F7
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	(　　　)　　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルカメラの点検をぜひ！

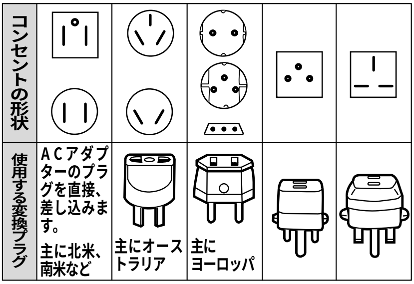
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。	➡	ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはパナソニッサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ



現地のテレビで再生する

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC 方式を採用している国および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

MEMO

- **再生できる画像は**
  日本と同じ NTSC 方式で出力できます。
- **デジタルカメラが海外で故障したときは**
  日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。海外でのアフターサービスは行っておりませんので、ご了承ください。

主な仕様

電源	DC 5 V
消費電力	2.5 W（ファインダー使用時） 3.0 W（液晶モニター使用時）

カメラ有効画素数	2.0M 画素
撮像素子	1/2.7 型 CCD　総画素数 211 万画素， 原色フィルター
レンズ	光学 2 倍ズーム f=5.3 mm-10.6 mm(35 mm フィルムカメラ換算：35 mm-70 mm)/F2.8-4.0
デジタルズーム	2 倍（800 x 600 画素）/2.5 倍（640 x 480 画素）
フォーカス	オート / マクロ / ∞（無限遠）
撮影範囲	通常：50 cm- ∞ , マクロ時：10 cm-100 cm
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	4 コマ / 秒　最大 5 コマ
動画撮影	320 x 240 画素、最長 20 秒
ISO 感度	100/200/400
シャッタースピード	2-1/2,000
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / 夜景 / セットモード
露出（AE）	プログラム AE 露出補正（0.25EV ステップ、-2 ～ +2EV）
測光方式	スポット測光 / 中央重点測光
液晶モニター	1.5 型 TFT 液晶（6 万画素）
光学ファインダー	実像式ズームファインダー
フラッシュ	内蔵式 撮影範囲：W 端時：約 30 ㎝～ 2.0 m/T 端時：約 30 ㎝～ 1.4 m オート / 赤目軽減オート / スローシンクロ / 強制 / 強制オフ
記録メディア	SD メモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数	1600x1200/800x600/640x480/320x240（動画）
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式	
静止画	JPEG(DCF* 準拠)、DPOF 対応
動画	QuickTime Motion JPEG
インターフェース	
デジタル	USB/ シリアル（携帯電話 au cdmaOne/feel H” 用）
アナログビデオ	NTSC コンポジット

端子	
USB	5pin Mini USB
アナログビデオ	Φ2.5mm ジャック
DC IN	EIAJ タイプ 2 ジャック
寸法(幅 x 高さ x 奥行)	104 x 50.9 x 31.6 mm(突起部除く)
質量	約 150 g(本体)
	約 180 g(メモリーカード、電池含む)
許容動作温度	0 ℃ -40 ℃
許容相対湿度	35%-80%

専用 AC アダプター

定格入力	AC 100 V-240 V、50/60 Hz
定格出力	DC 5.3 V、1.0A
入力容量	14 VA(100 V)、20 VA(240 V)
寸法(幅 x 高さ x 奥行)	50 x 26 x 70 mm
質量	約 105 g
許容動作温度	0 ℃ -40 ℃

リチウムイオンバッテリーパック

電圧 / 容量	3.6 V, 700mAh

* DCF とは、Design rule for Camera File system の略で、(社)電子情報技術産業協会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です。

索引

ま

ら

英数字